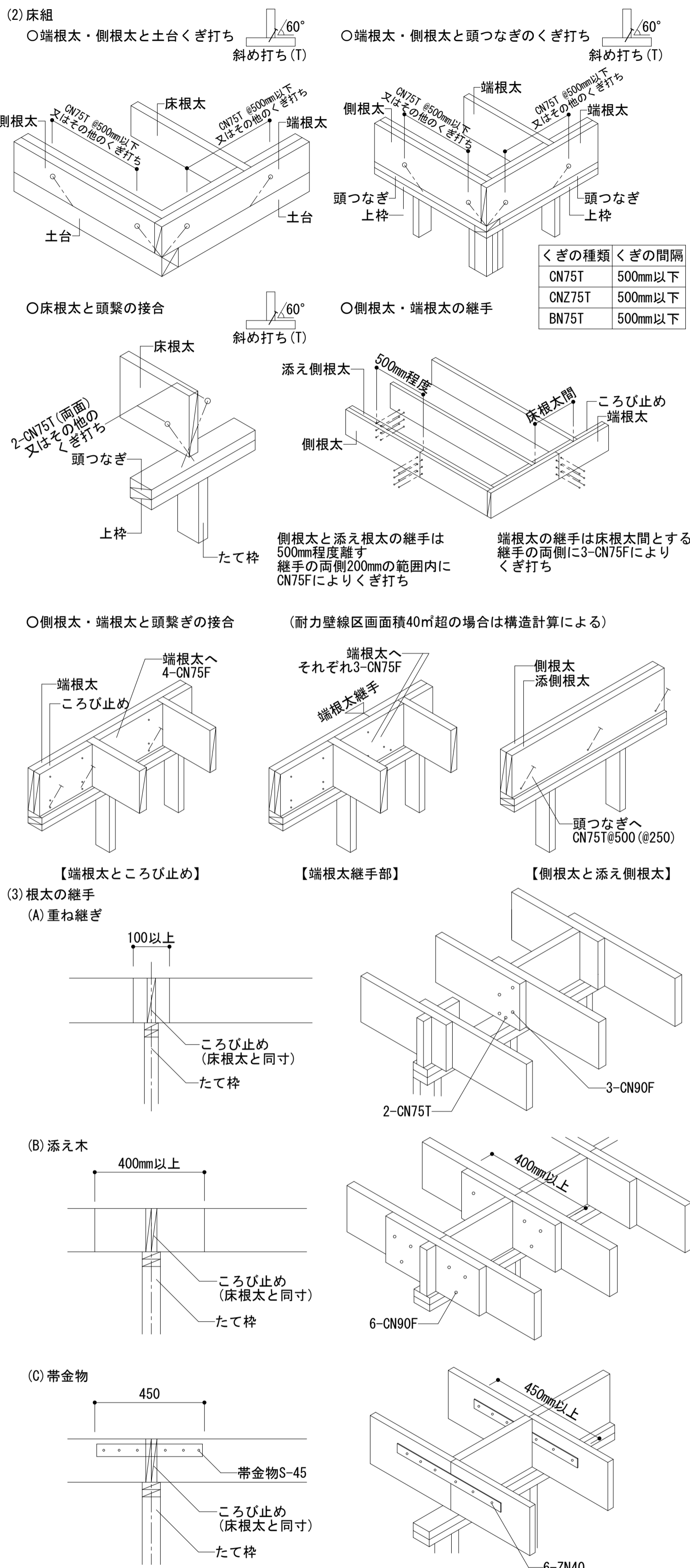






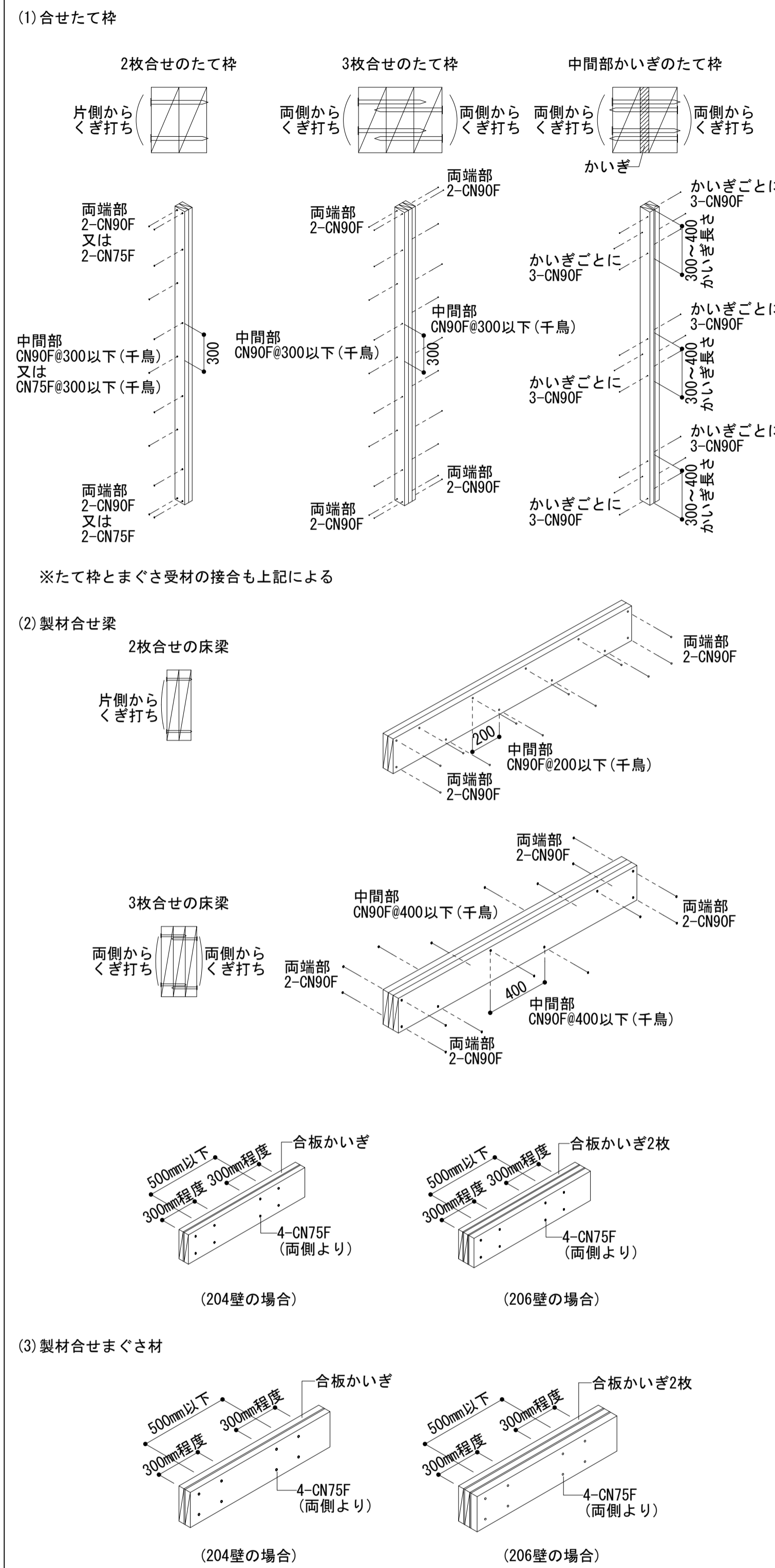
枠組壁工法：構造特記仕様書(3)



○床枠組のくぎ打ち、くぎの種類は構造図特記無き場合下表による。

緊結する部分	緊結の方法		
	くぎの種類等	くぎ本数	打ち方
床根太と土台又は頭つなぎ	CN75・CNZ75	2本	T
	CN65・CNZ65	3本	T
	BN75	4本	T
	BN65	4本	T
端根太・側根太と土台又は頭つなぎ	3階建ての1階	CN75・CNZ75	T 25cm以下
	その他の階	BN75	T 18cm以下
		CN75・CNZ75	T 50cm以下
		BN75	T 36cm以下

9-2. 枠組壁工法接合部の標準仕様 - 製材合わせ材

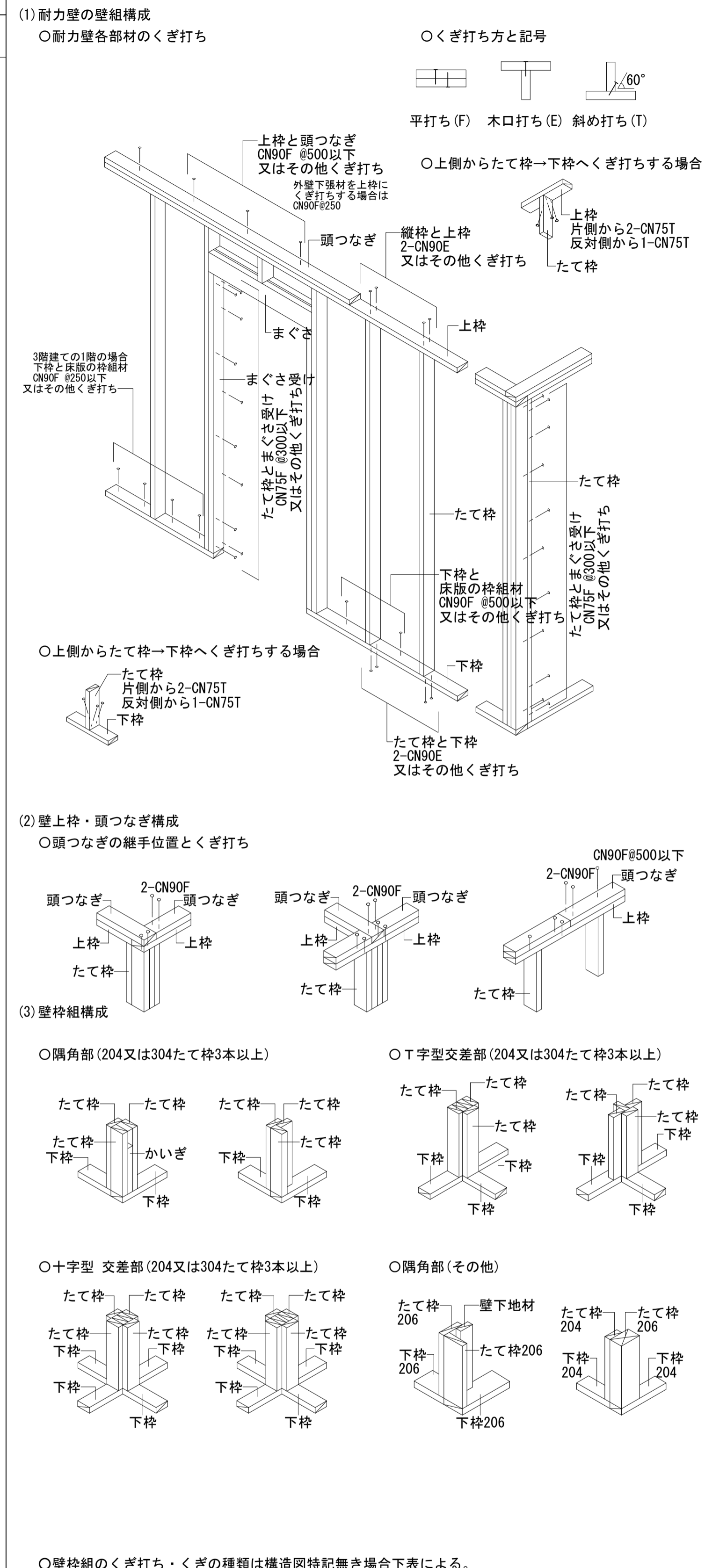


○製材の合せ材のくぎ打ち・くぎの種類は構造図特記無き場合下表による。

緊結する部分	くぎの種類	打ち方	緊結の方法		備考
			間隔等		
合わせ梁	CN90・CNZ90	F・千鳥	両端2本	両面打ち	両面打ち
			中間200mm		
合わせ材	CN90・CNZ90	F・千鳥	両端2本	両面打ち	両面打ち
			中間400mm		
合わせ材	CN75・CNZ75	F	両面から	かいぎ500mm以内	かいぎ500mm以内
			4本づつ	かいぎ部にくぎ打ち	
合わせ材	CN75・CNZ75	F	両面から	かいぎ500mm以内	かいぎ500mm以内
			4本づつ	かいぎ部にくぎ打ち	
たて枠とたて枠、又はまぐさ受け	CN75・CNZ75 CN90・CNZ90	F・千鳥	両端2本	中間300mm	

9-3. 枠組壁工法接合部の標準仕様 - 壁組

木構仕第7章8節

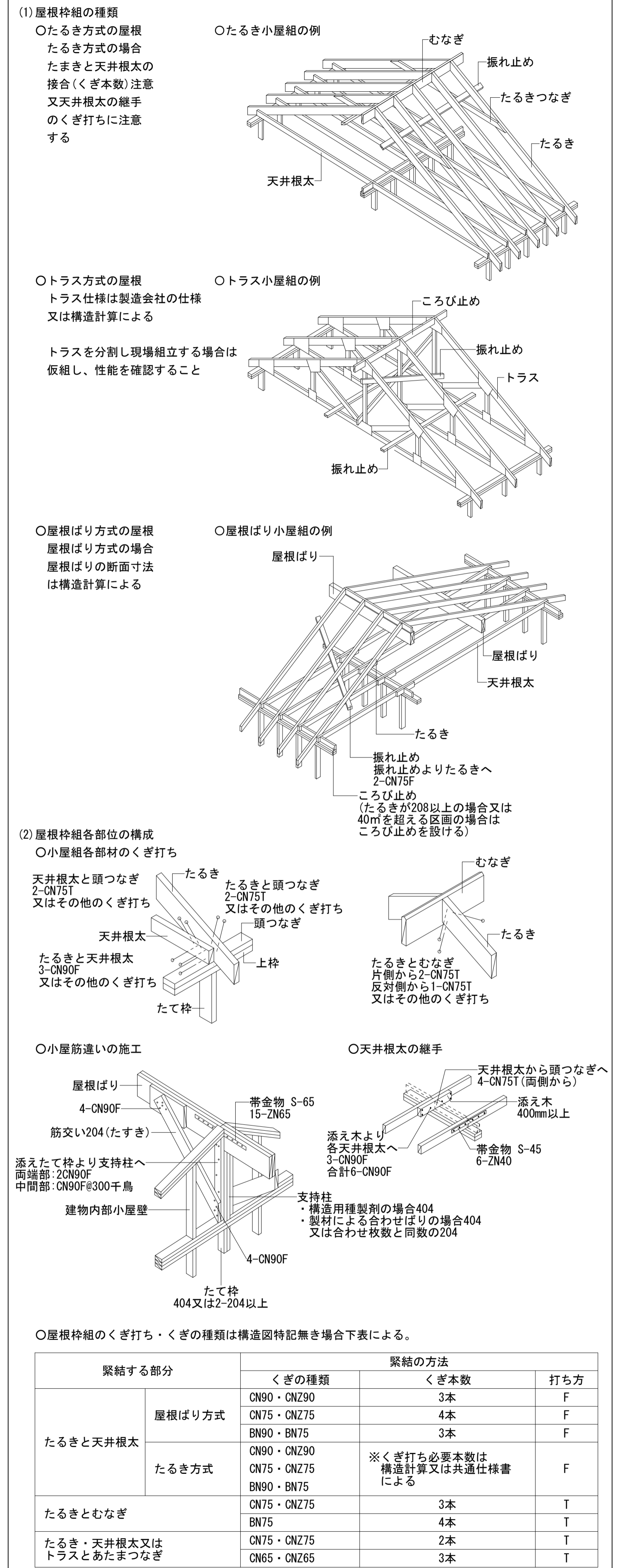


○壁枠組のくぎ打ち・くぎの種類は構造図特記無き場合下表による。

緊結する部分	くぎの種類	緊結の方法		
		くぎ本数打ち方	打ち方	間隔
たて枠と上枠又は下枠	CN90・CNZ90 CN75・CNZ75 CN65・CNZ65 BN90・BN75 BN65	2本	F	
		3本	F	
		4本	F	
		4本	F	
下枠と床版の枠組材	CN90・CNZ90 BN90・BN75	3階建ての1階	F	25cm以下
		その他の階	F	17cm以下
上枠と頭つなぎ	CN90・CNZ90 BN90	3階建ての1階	F	50cm以下
		その他の階	F	34cm以下
上枠と頭つなぎ	CN90・CNZ90 BN90	3階建ての1階	F	50cm以下
		その他の階	F	34cm以下

9-4. 枠組壁工法接合部の標準仕様 - 小屋組

木構仕第7章9節

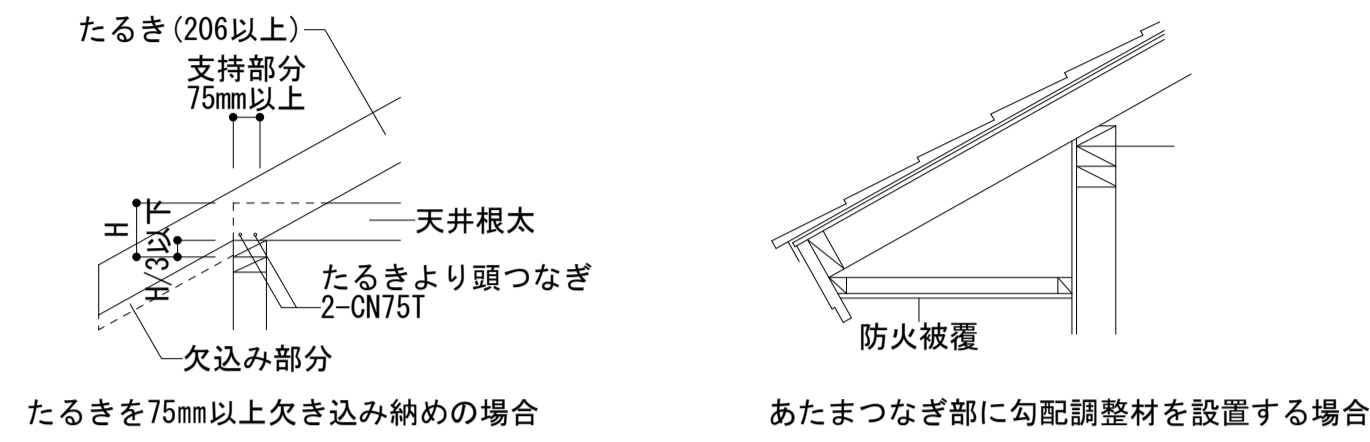


○屋根枠組のくぎ打ち・くぎの種類は構造図特記無き場合下表による。

緊結する部分	くぎの種類	緊結の方法	
		くぎ本数	打ち方
たるきと天井根太	CN90・CNZ90 CN75・CNZ75 BN90・BN75	3本	F
		4本	F
		3本	F
たるきとむなぎ	CN75・CNZ75 BN75	3本	T
		4本	T
たるき・天井根太又はトラスとあたまつなぎ	CN75・CNZ75 CN65・CNZ65	2本	T
		3本	T

# 枠組壁工法：構造特記仕様書(4)

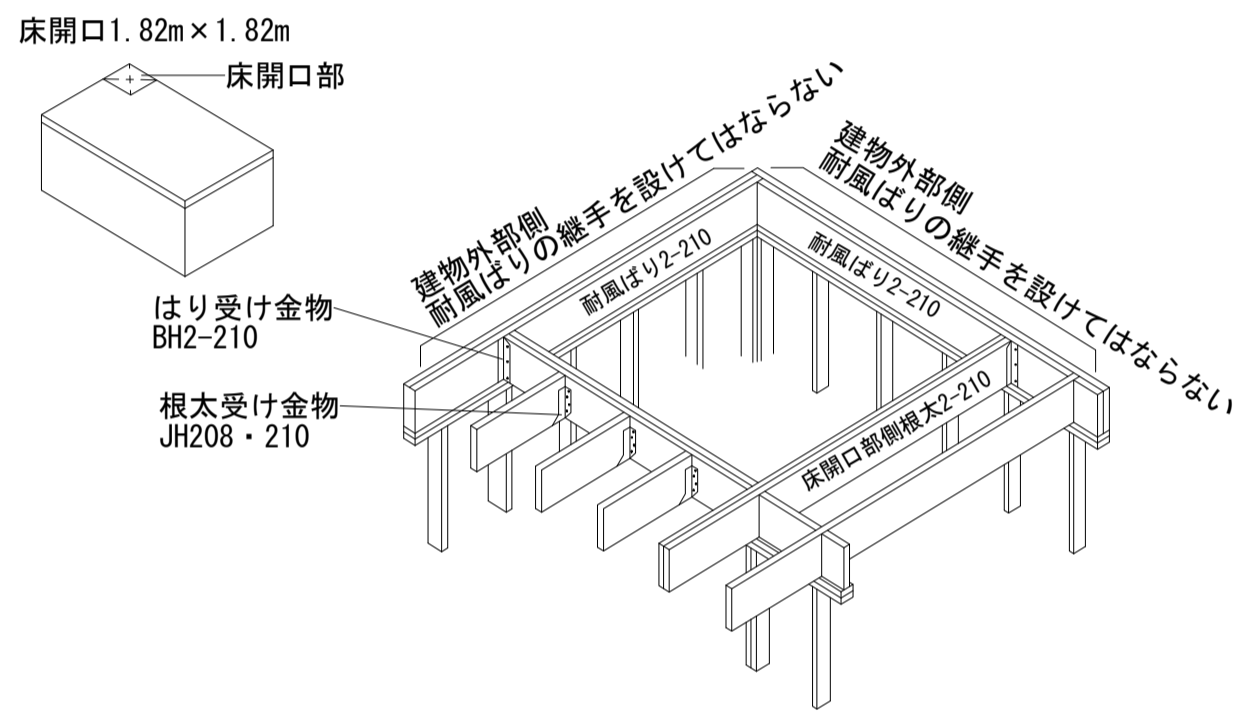
- (3) たるきと壁頭つなぎの取合い  
 たるきと壁あたまつなぎの取合いは下記のいずれかによる。  
 ① 206材以上のたるきは欠き込んで外壁のあたまつなぎに納める。  
 たるきの欠き込み巾は原則 75mm以上かつ、たるき背の1/3以下を確保する。  
 ② たるきの欠き込みに替えて、あたまつなぎの上に勾配調整材(傾斜かいぎ)を取り付ける。  
 ③ トラス構造とする場合は製造メーカーの仕様、又は構造計算による。



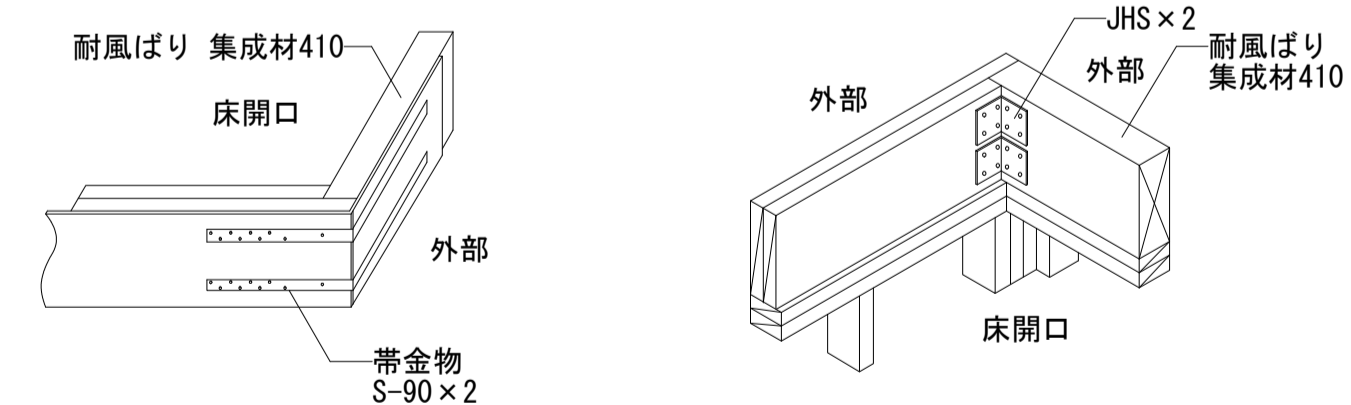
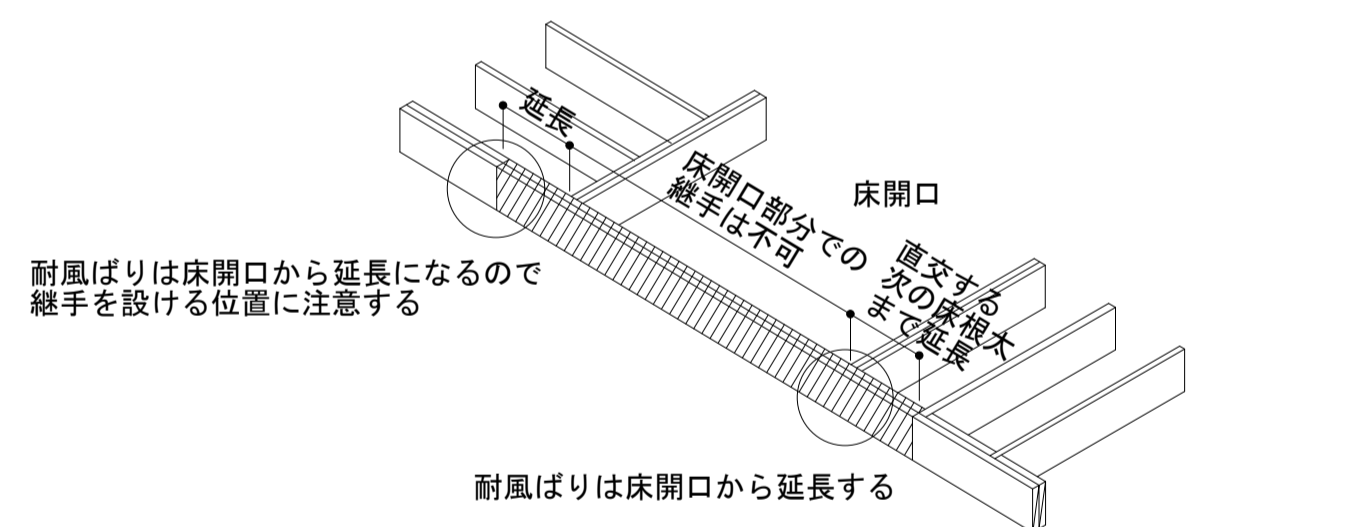
## 9-5. 枠組壁工法接合部の標準仕様 - 床開口・屋根開口

床開口部を設ける場合は、構造計算により安全を確認する、又外壁に接する。  
 床開口は、外壁側に「耐風ばり」を設ける、耐風ばりの断面は構造計算により決定する。

### ○床開口部施工例

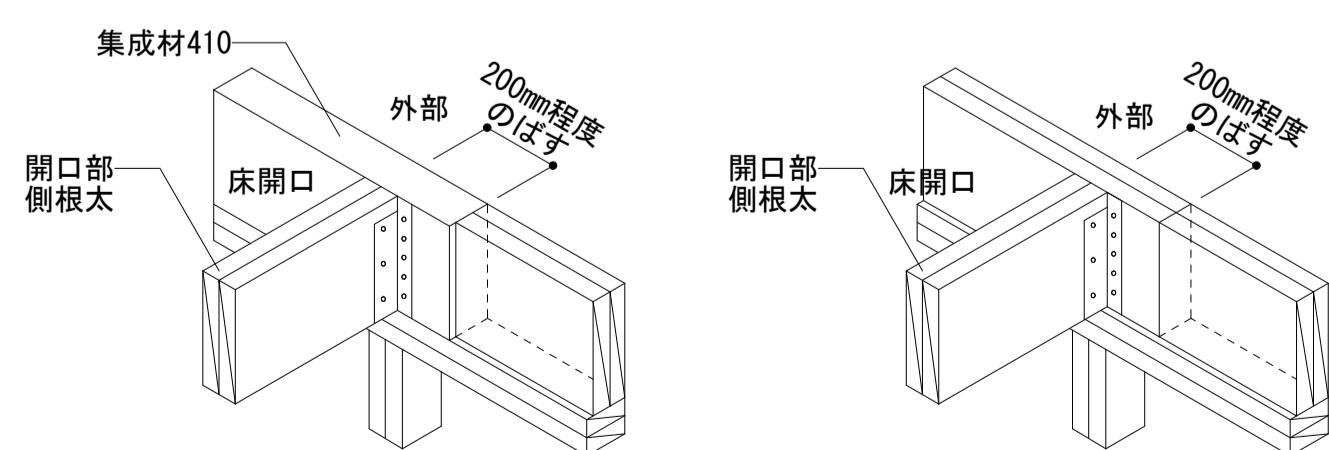


### ○耐風ばりと床組の構成



【床開口隅角部の緊結1】

【床開口隅角部の緊結2】

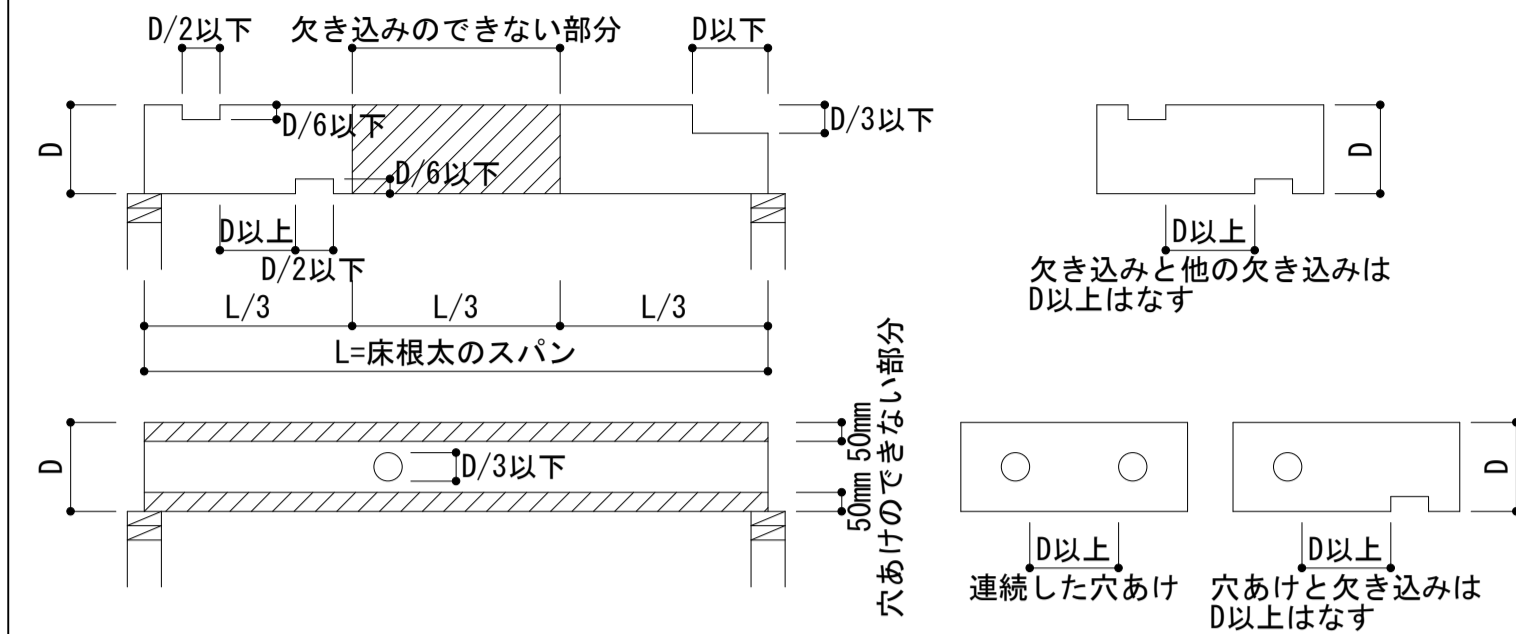


【耐風ばりと開口部側根太の緊結1】

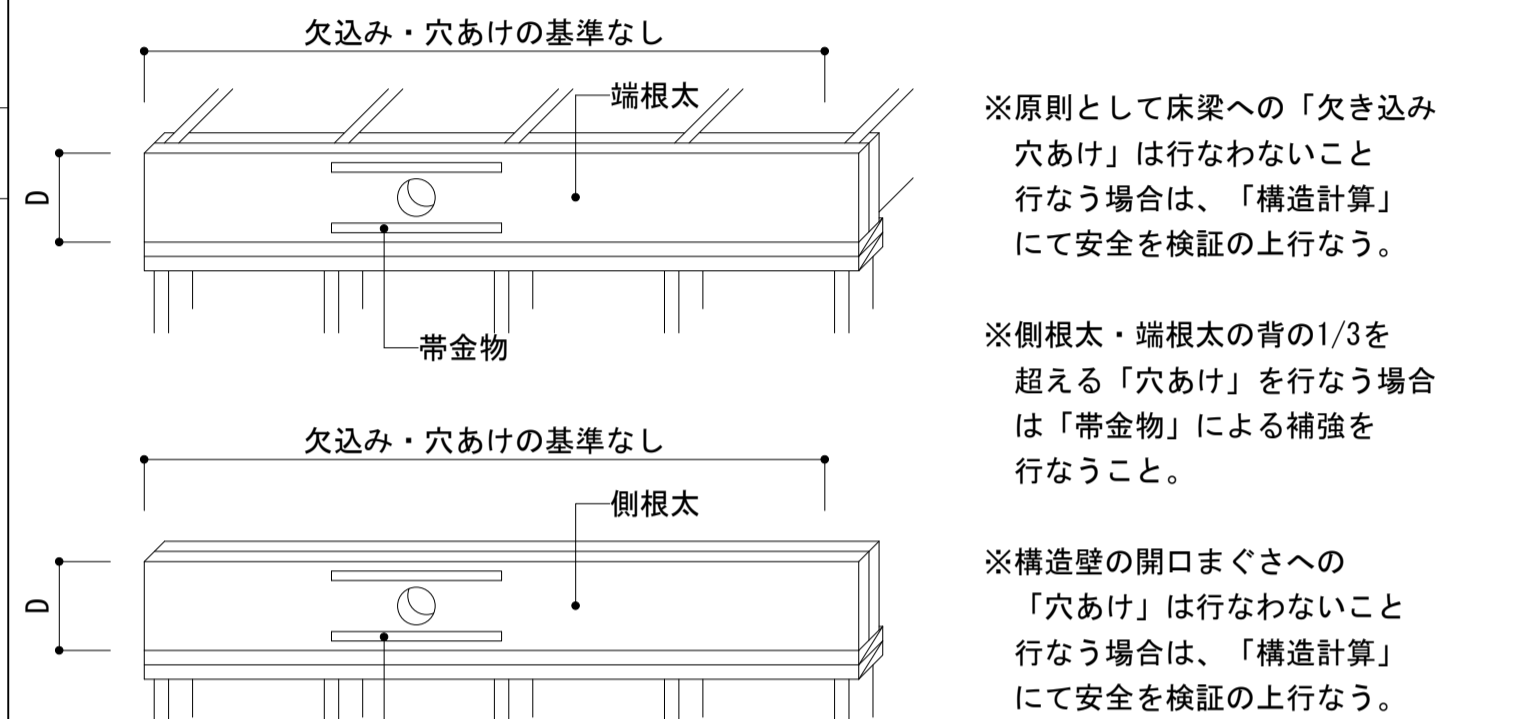
【耐風ばりと開口部側根太の緊結2】

## 9-6. 枠組壁工法接合部の標準仕様 - 欠き込み・穴あけ

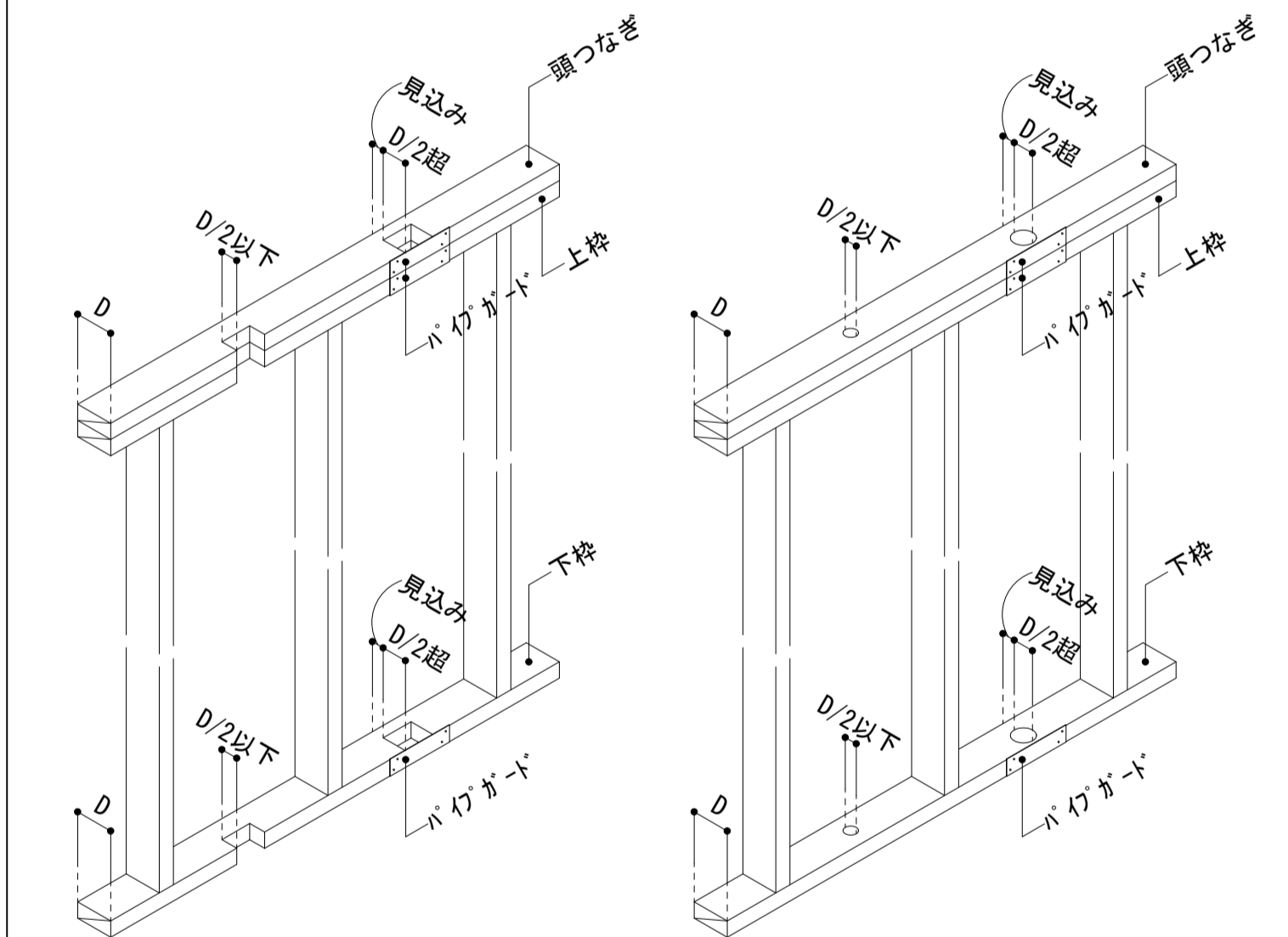
### (1) 床根太への「欠き込み・穴あけ」基準



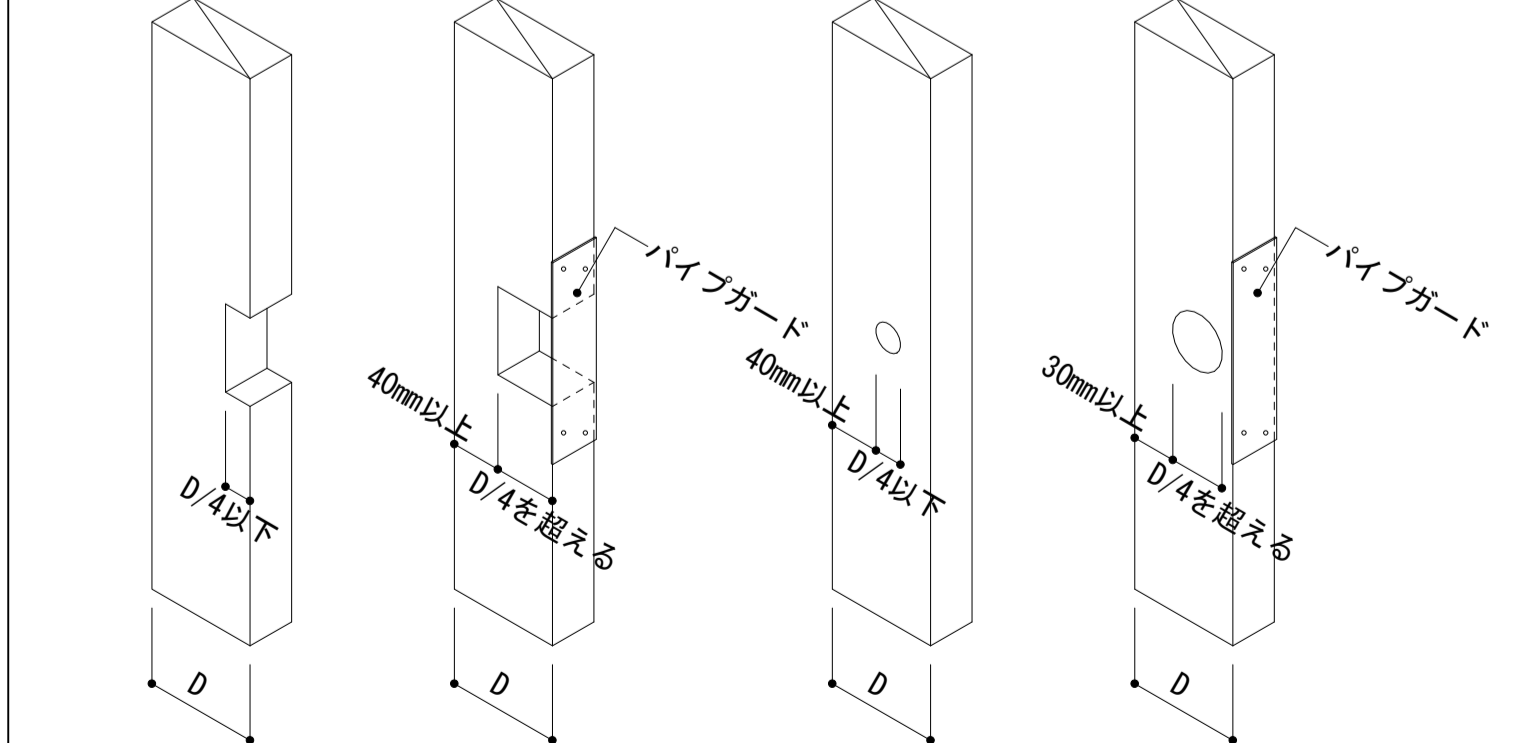
### (2) 側根太・端根太への穴あけ補強(根太背D/3を超える場合)



### (3) 耐力壁の上枠・頭つなぎ・下枠への「欠き込み・穴あけ」基準

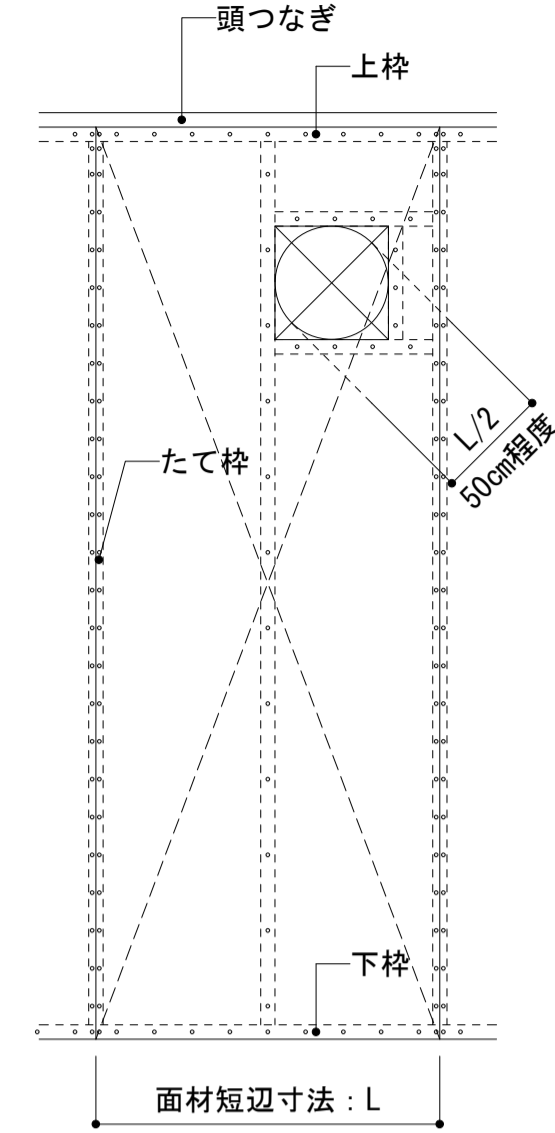


### (4) たて枠への「欠き込み・穴あけ」基準



※原則として、1本のたて枠への「欠き込み」は1箇所とする。  
 ※たて枠への「欠き込み・穴あけ」を行なった場合は、壁の面材施工時くぎ・ビス施工に注意すること。

- (5) 耐力壁に設ける小開口  
 耐力壁に穴径L/2 (50cm程度)までの小開口を設ける場合、四周を受け材等で補強し面材にくぎ打ちを行う。



# 枠組壁工法：構造特記仕様書 (5)

## 9-7. 枠組壁工法建築物パネル工法

本節は、枠組壁工法工事に用いるパネル(枠組材及び枠組材に構造用面材を組み立てた、壁パネル、床パネル、屋根パネル等の加工部材。以下「パネル」という。)を工場製作とする建築物に適用する。

パネルの製作及び接合方法は構造図の指定による。  
構造図に特記のない接合方法の採用については監督職員・監理者の承諾を受ける。

- (1) パネル製作工場等  
パネルを製作する工場及び木材等の加工工場の製作・加工能力等を示す資料を、監督職員に提出する。  
選定したパネル製作工場及び木材等の加工工場は、監督職員の承諾を受ける。  
パネル製作工場等における品質管理が適切に行われたことを示す記録を、監督職員に提出する。

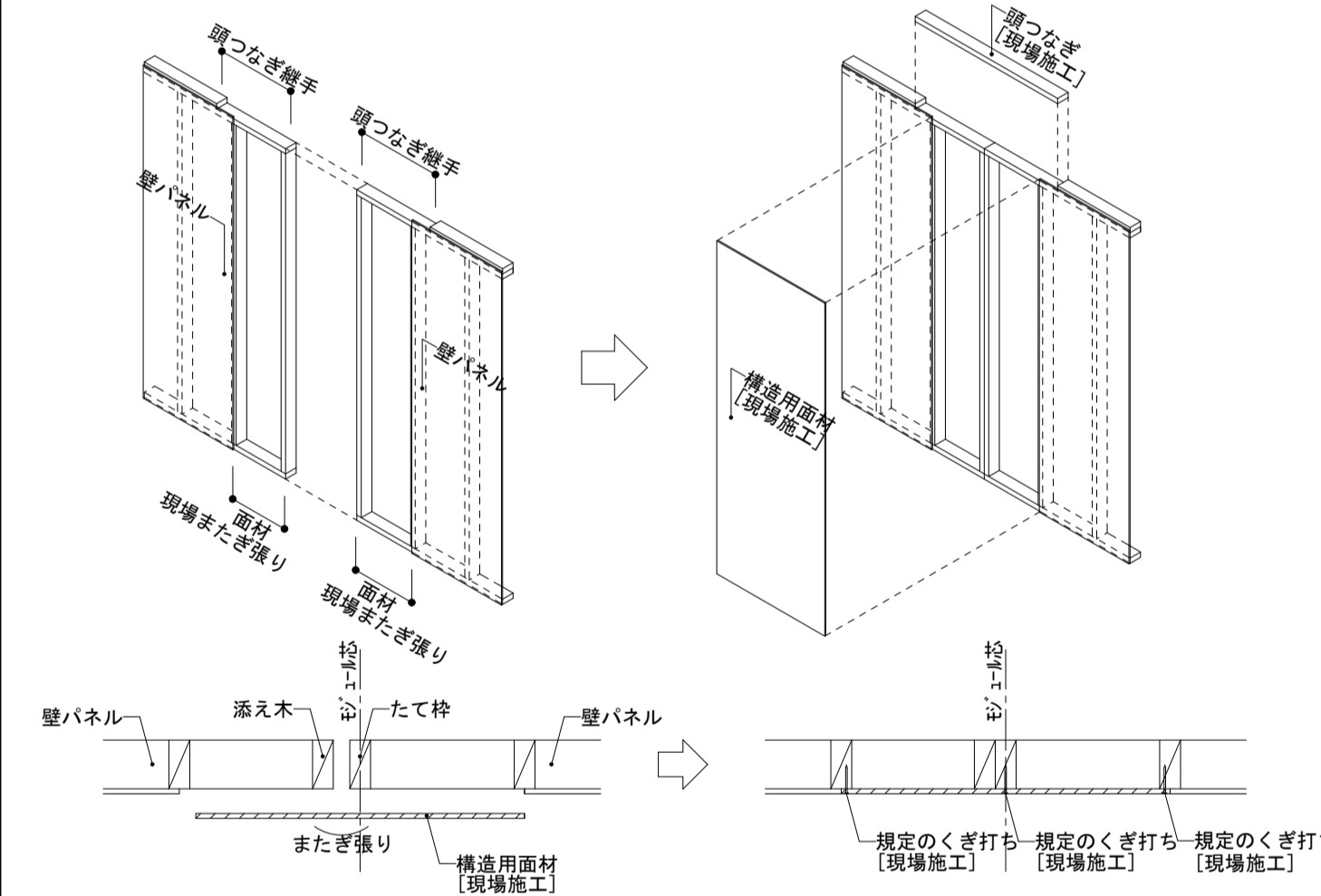
- (2) 木材等の加工  
パネル製作、トラス製作、枠組材等の加工等を行う場合は、パネル製作図、トラス製作図、又は加工図を作成し、監督職員に提出する。  
パネル製作図等には、以下について記載する。  
① パネル、トラス又は枠組材等の加工材の工場又は工事現場における製作、加工範囲の区分  
② 枠組材相互、枠組材と構造用面材及びパネル相互を緊結する接合具の仕様と接合方法  
③ 接合金物・接合具等の仕様  
④ パネル製作工場等での取付けを行う接合具

パネル等は、パネル製作図等と出荷記録を照合し、断面寸法、長さ、仕口及び継手の位置、接合金物等の取付け位置等について、全て記録を行い、記録を監督職員に提出する。

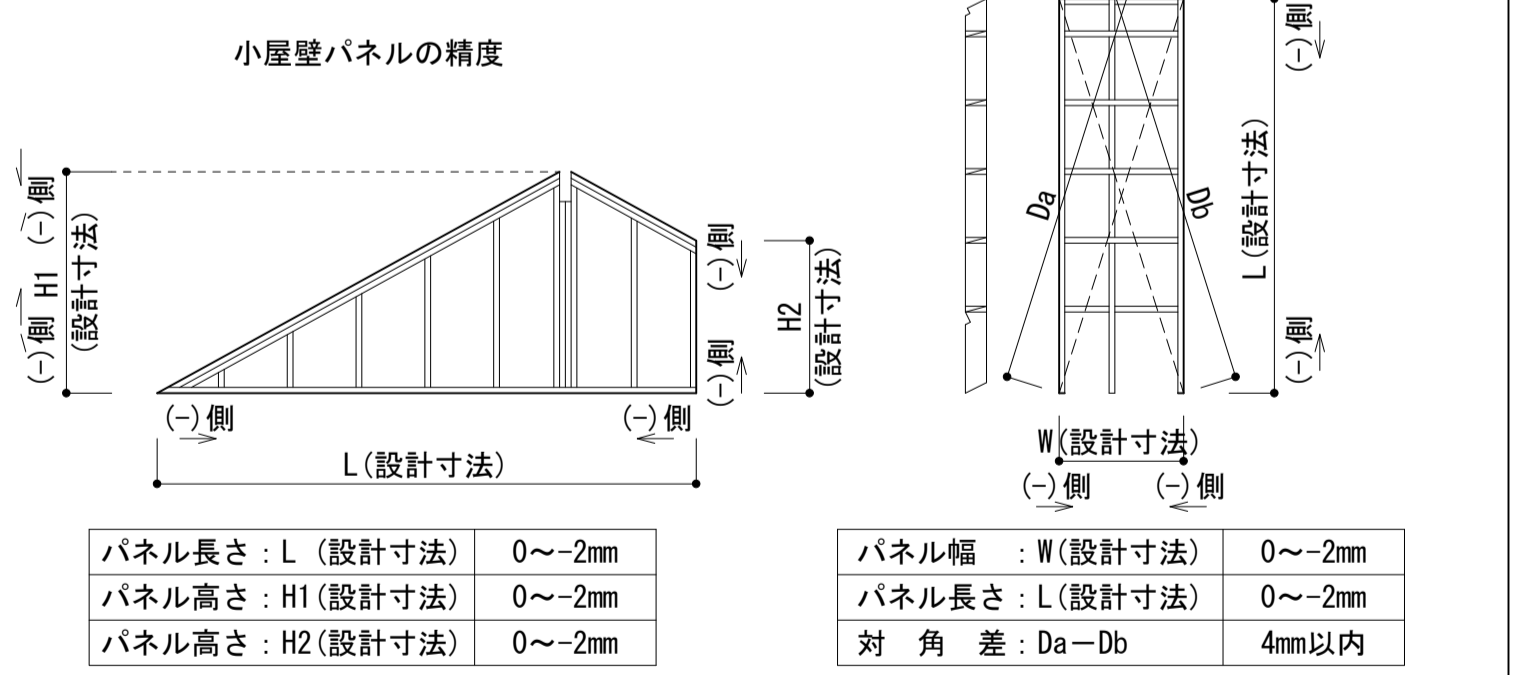
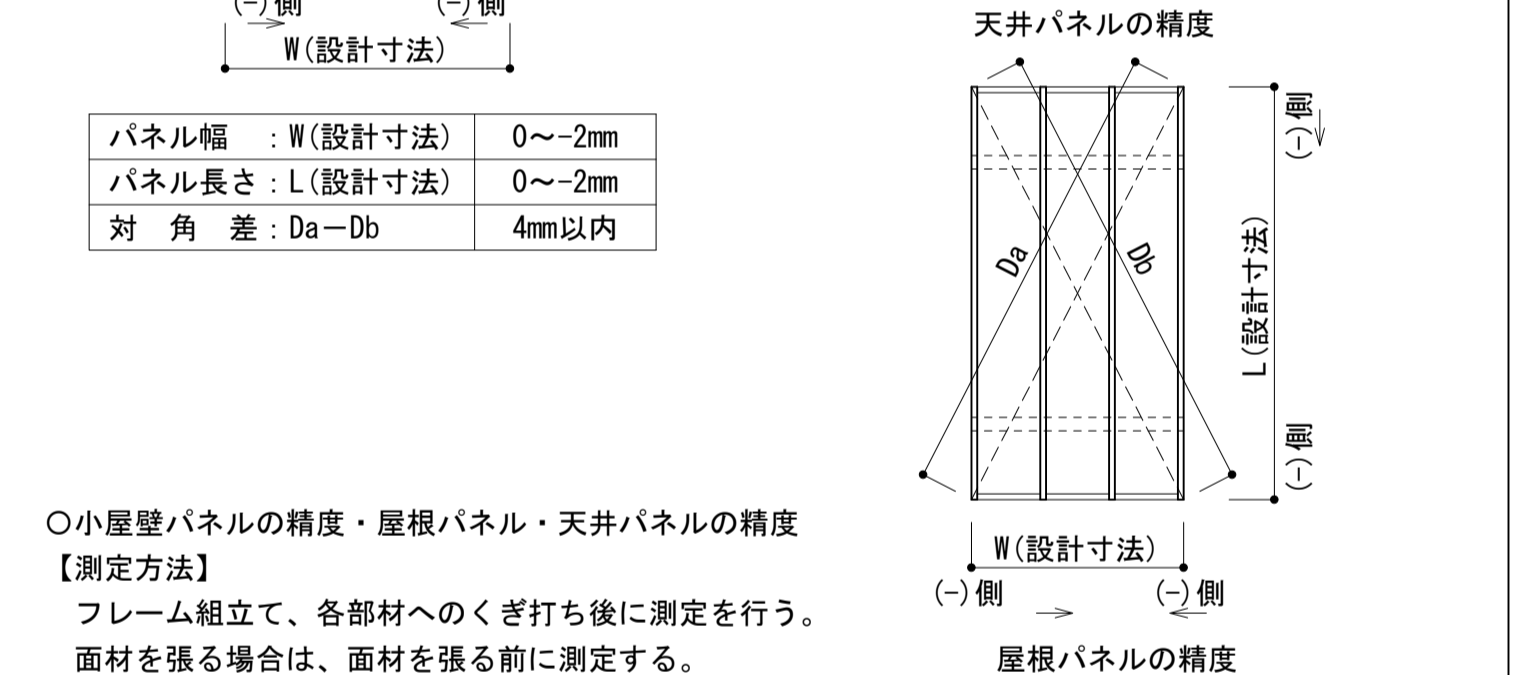
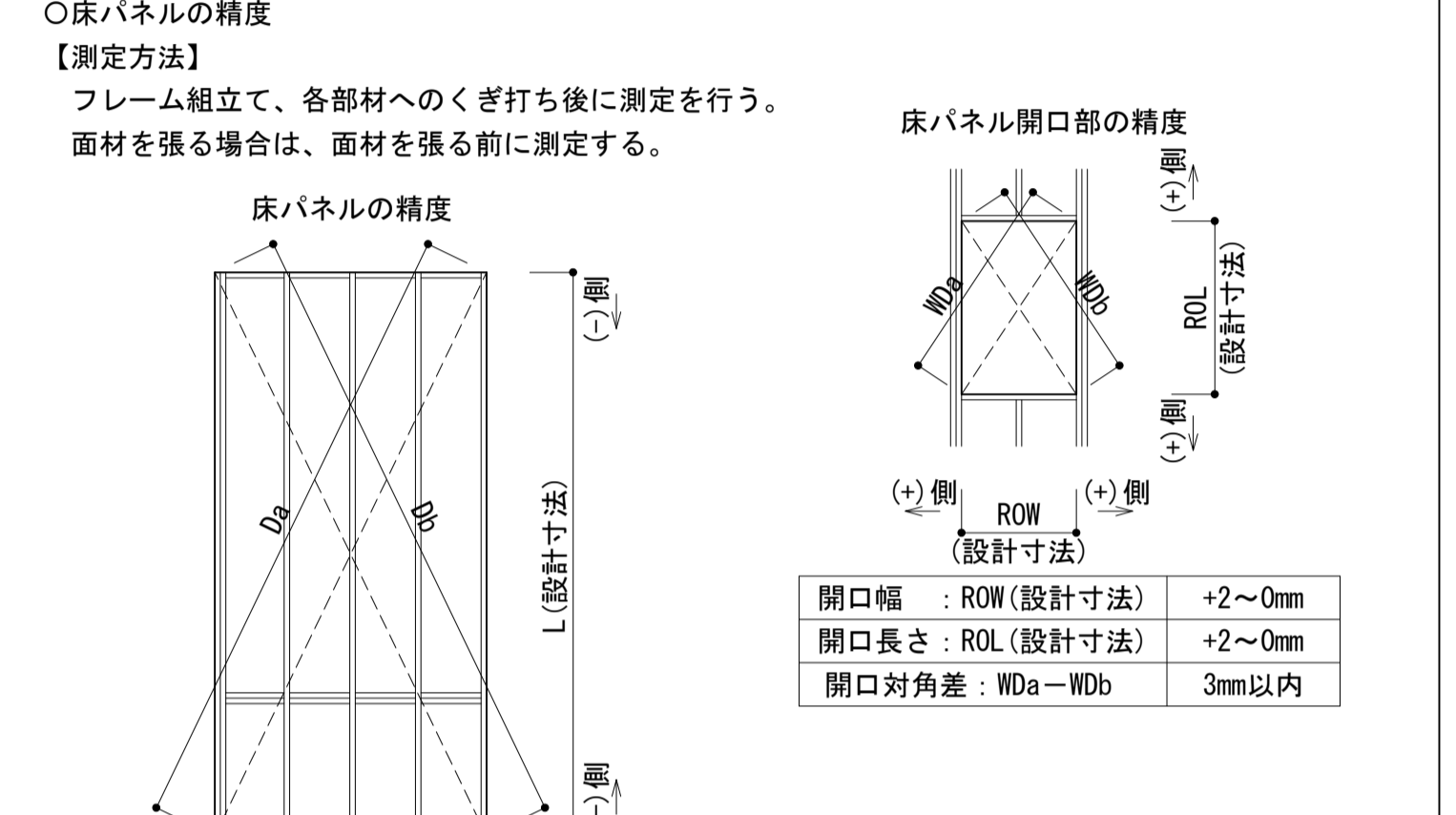
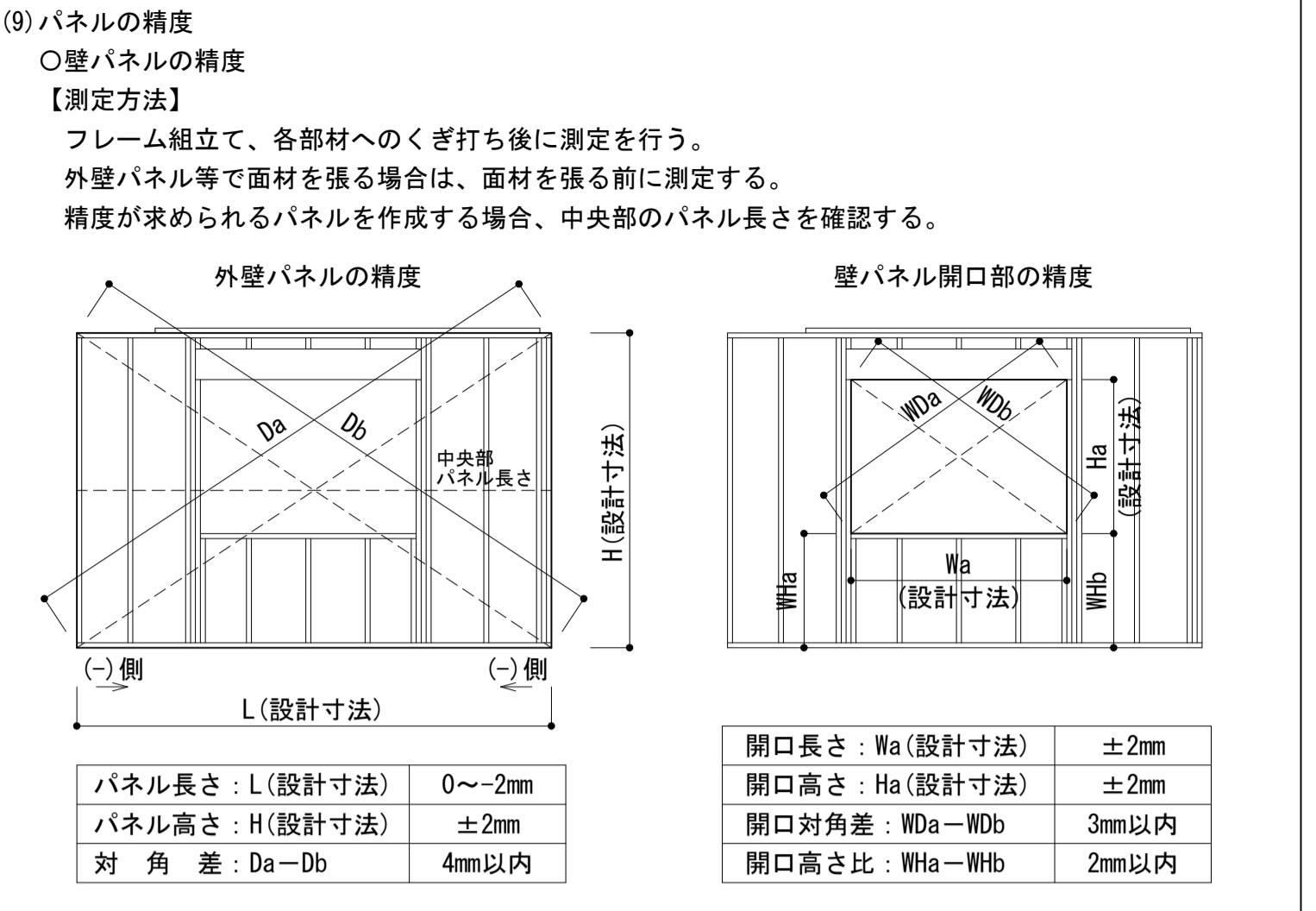
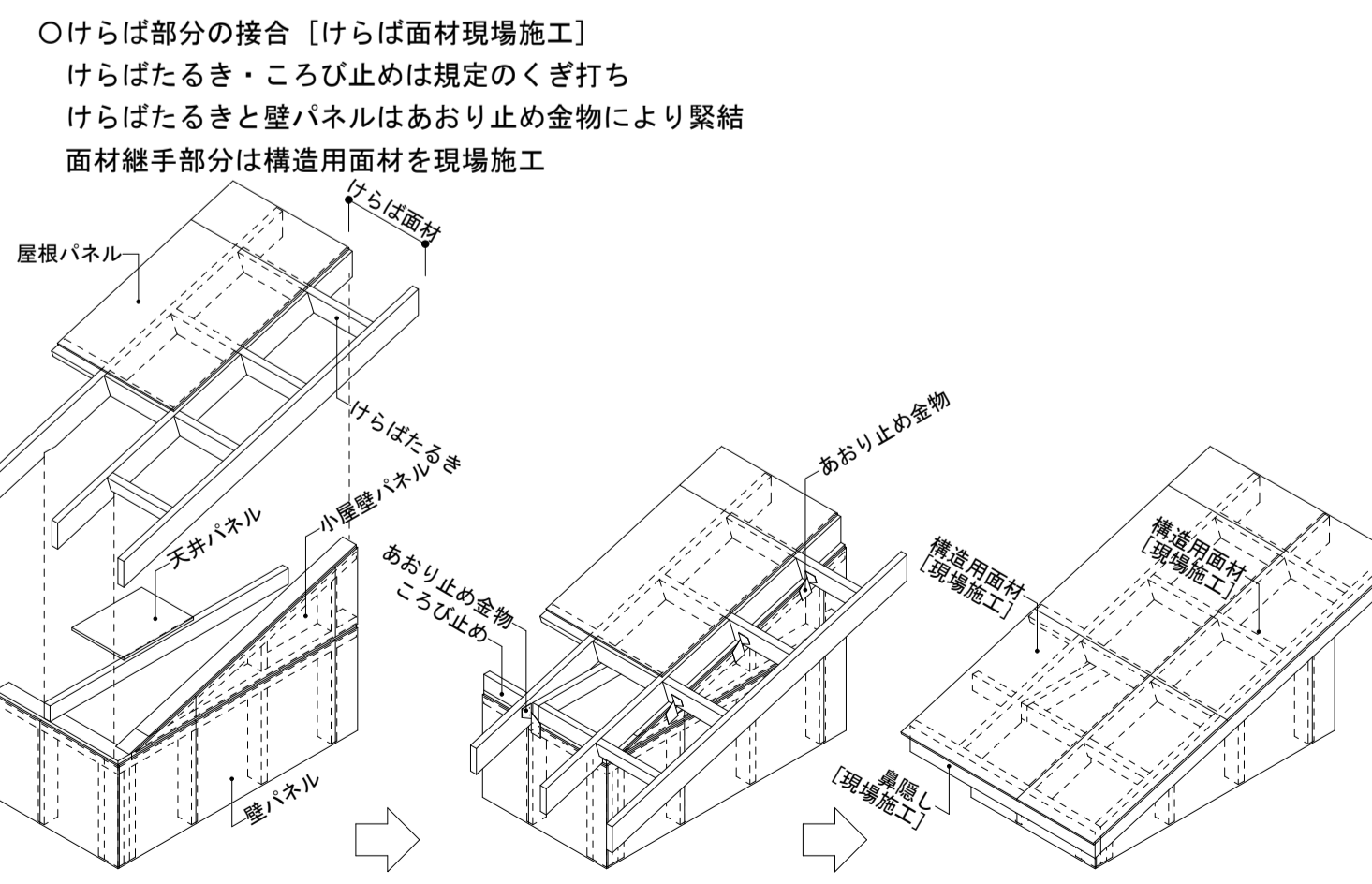
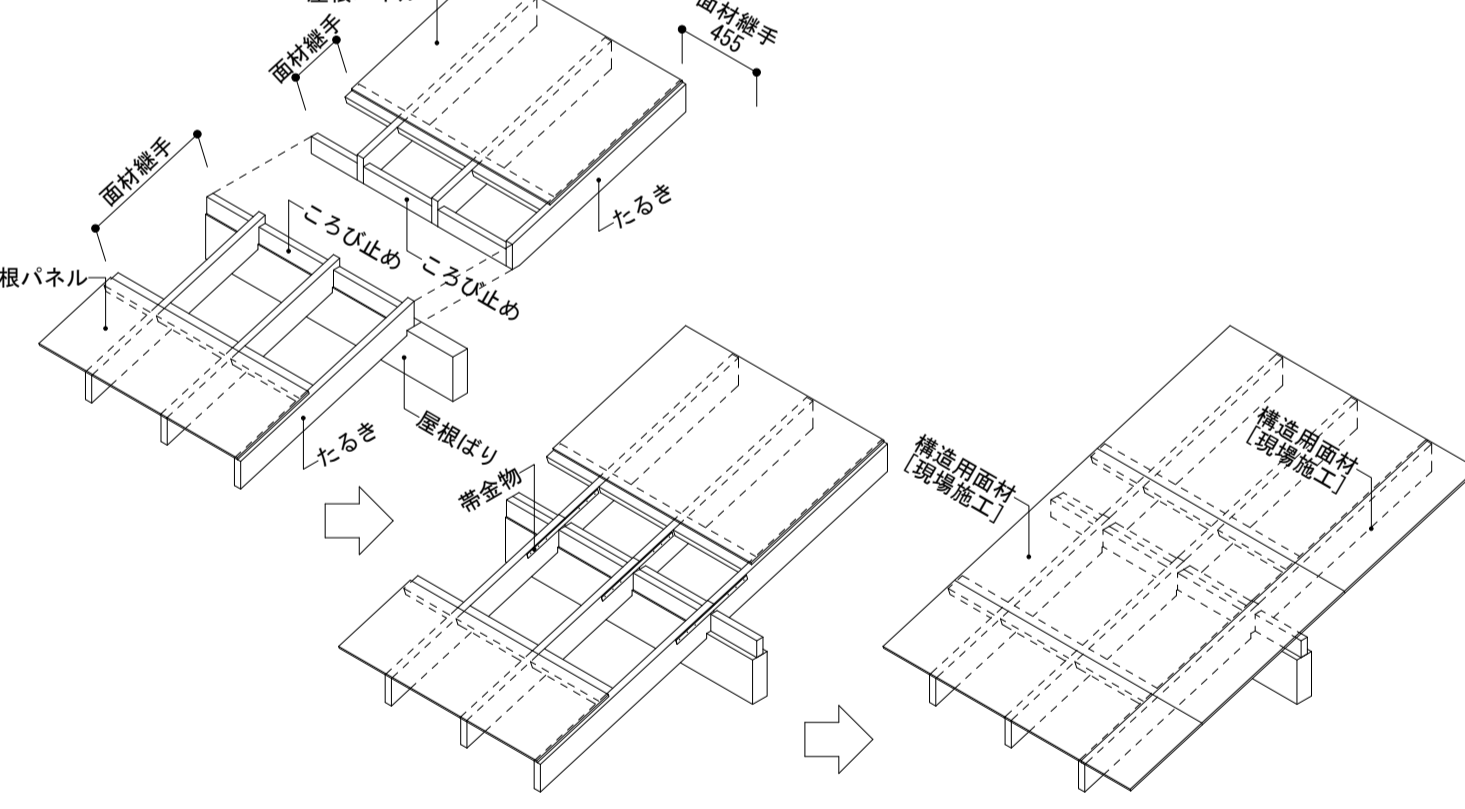
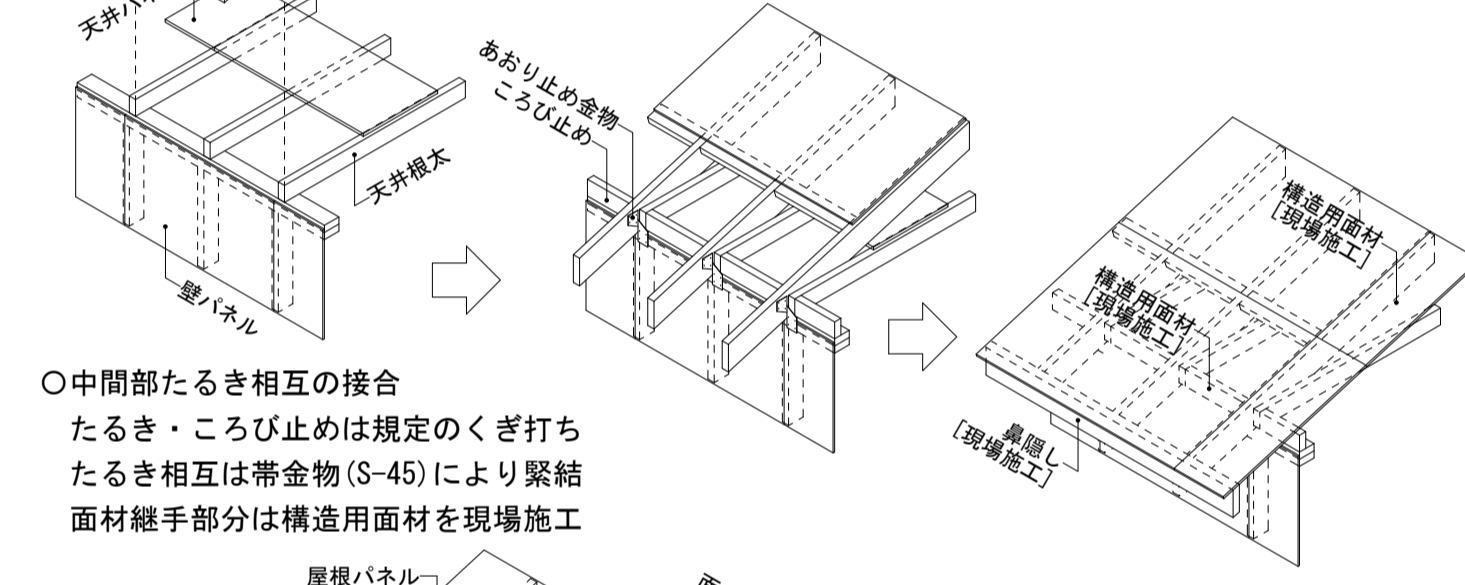
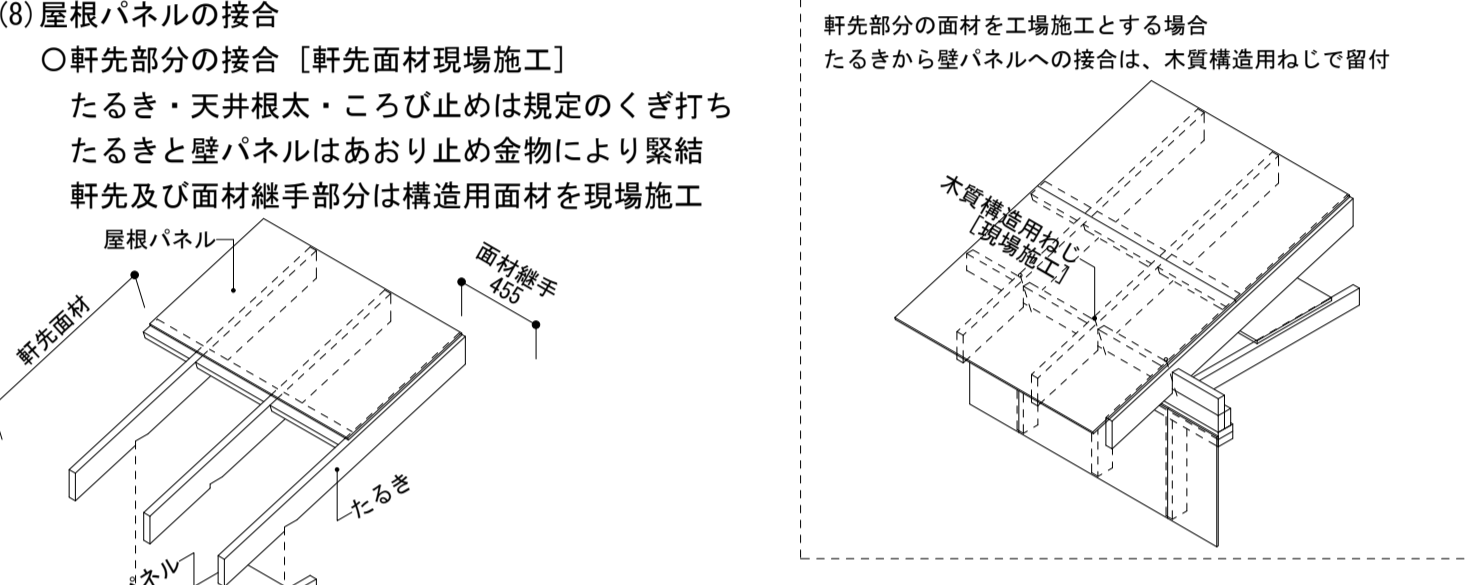
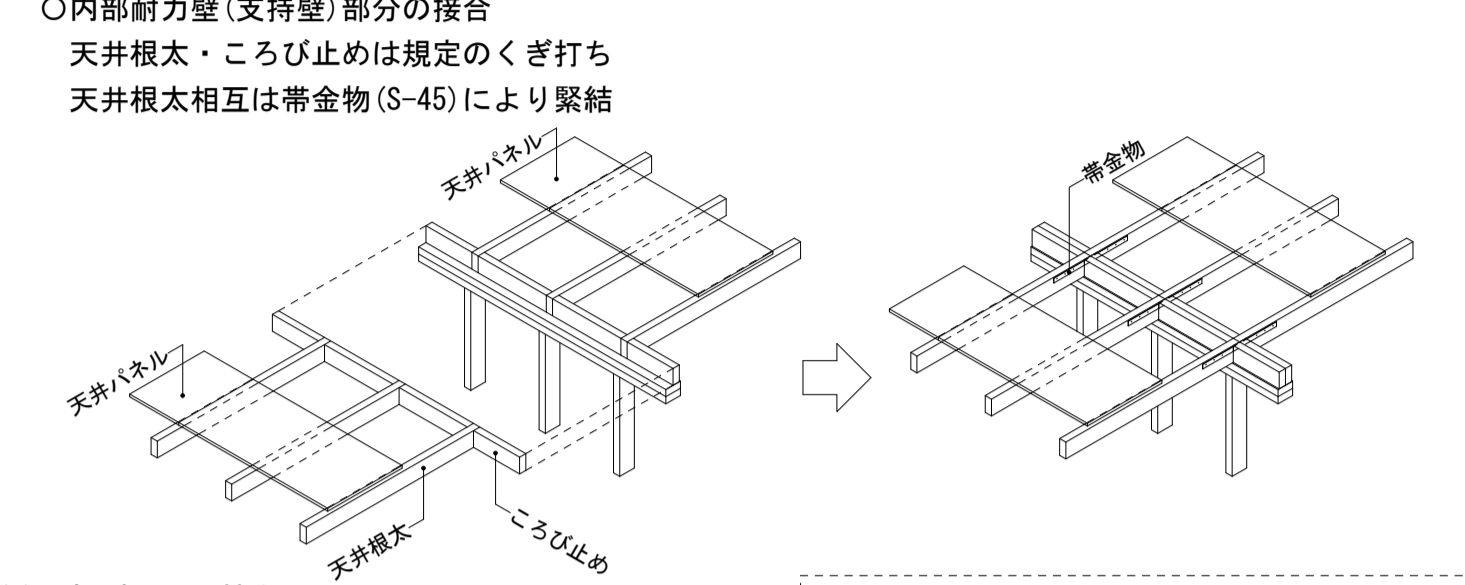
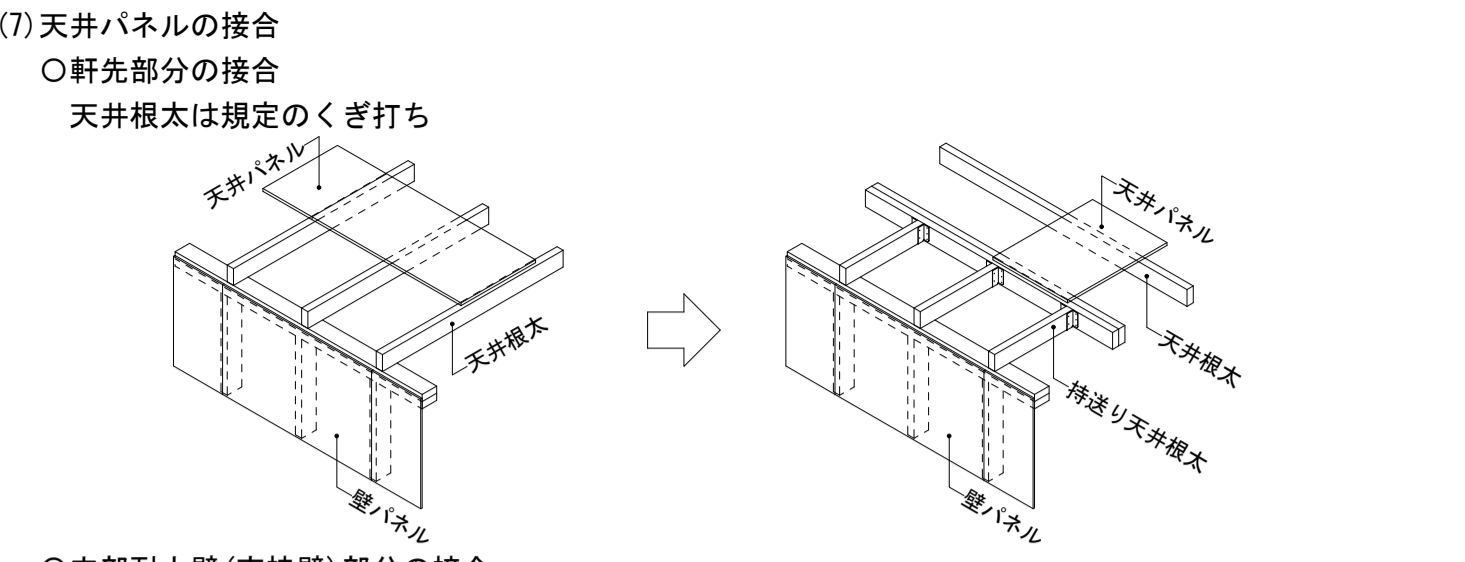
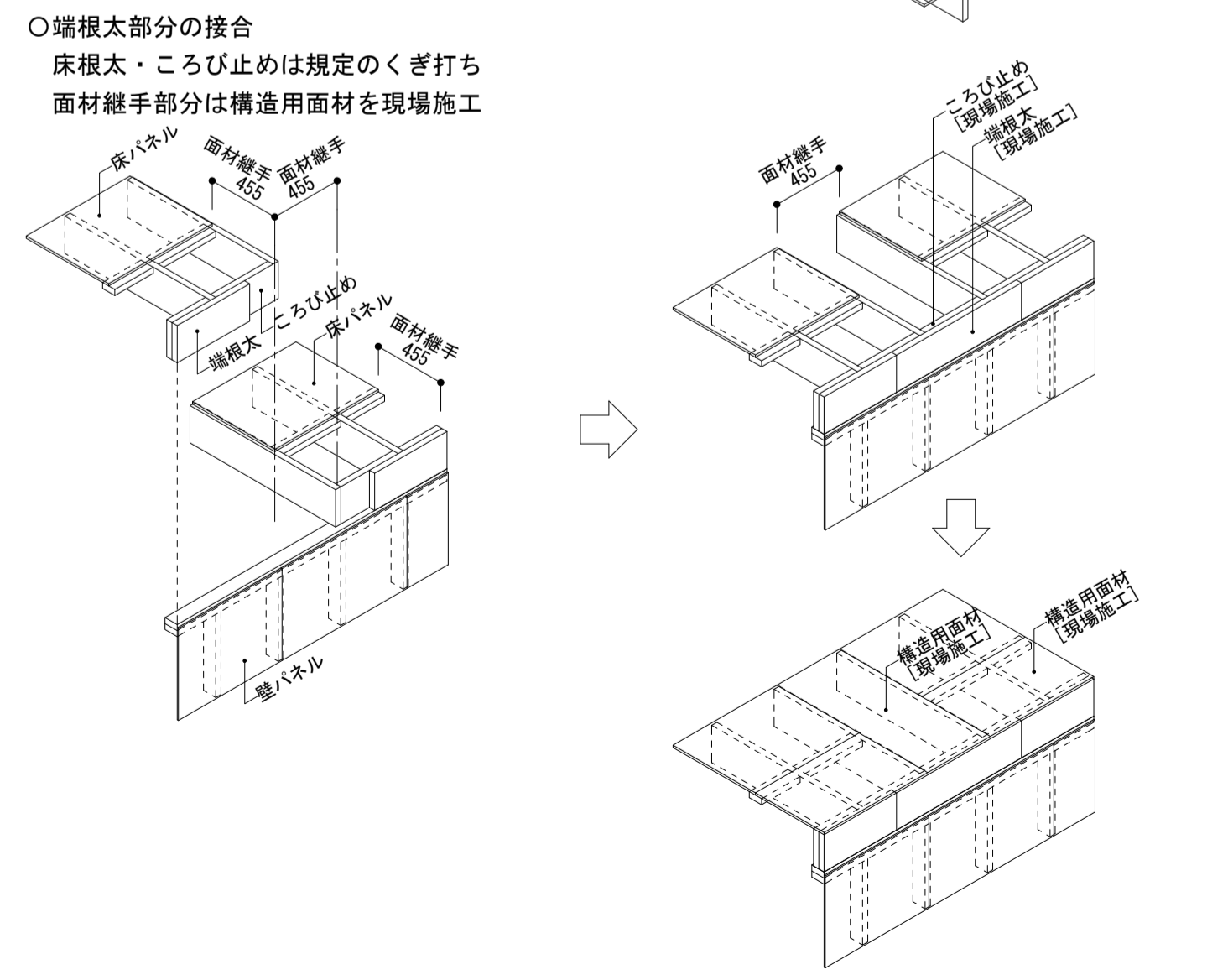
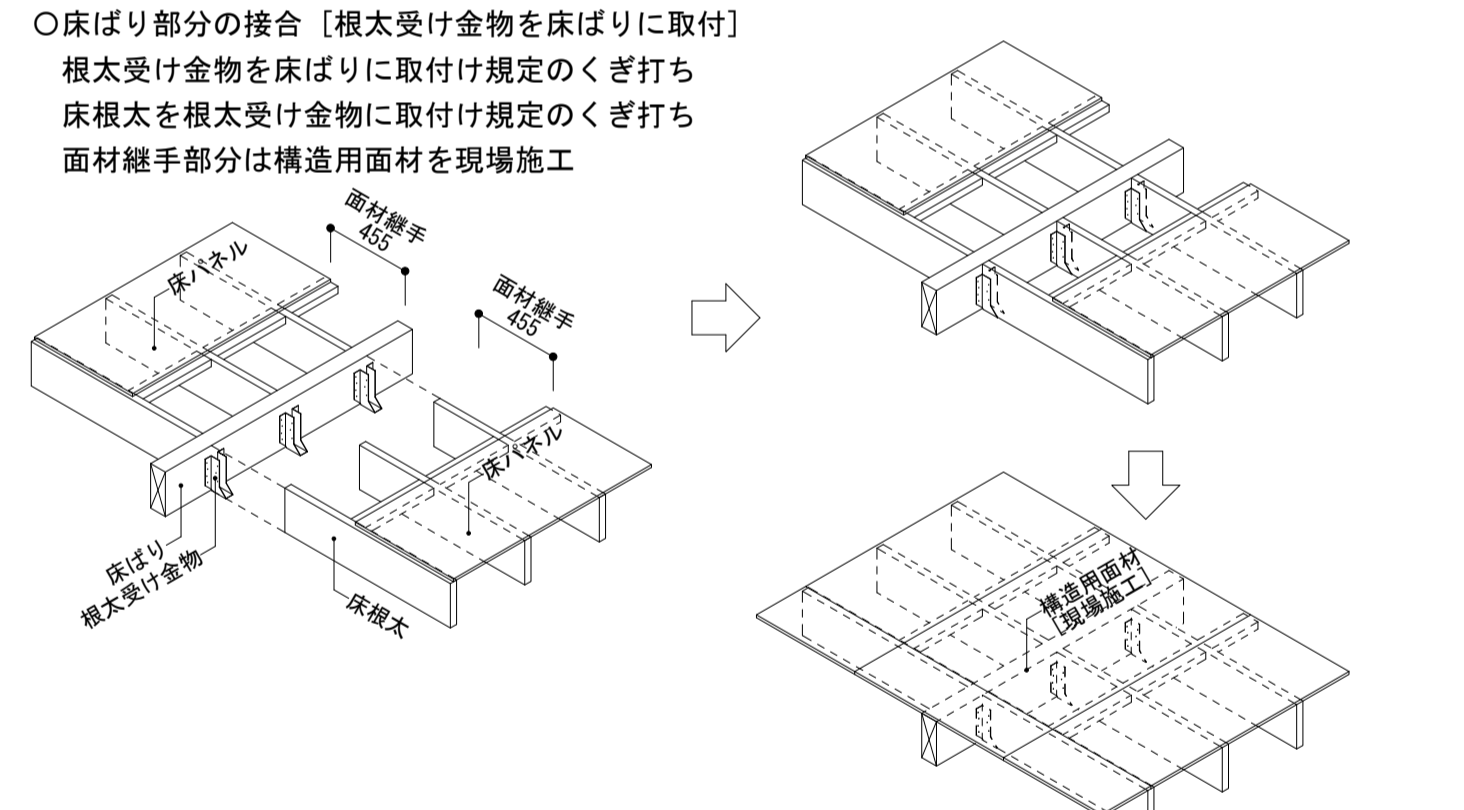
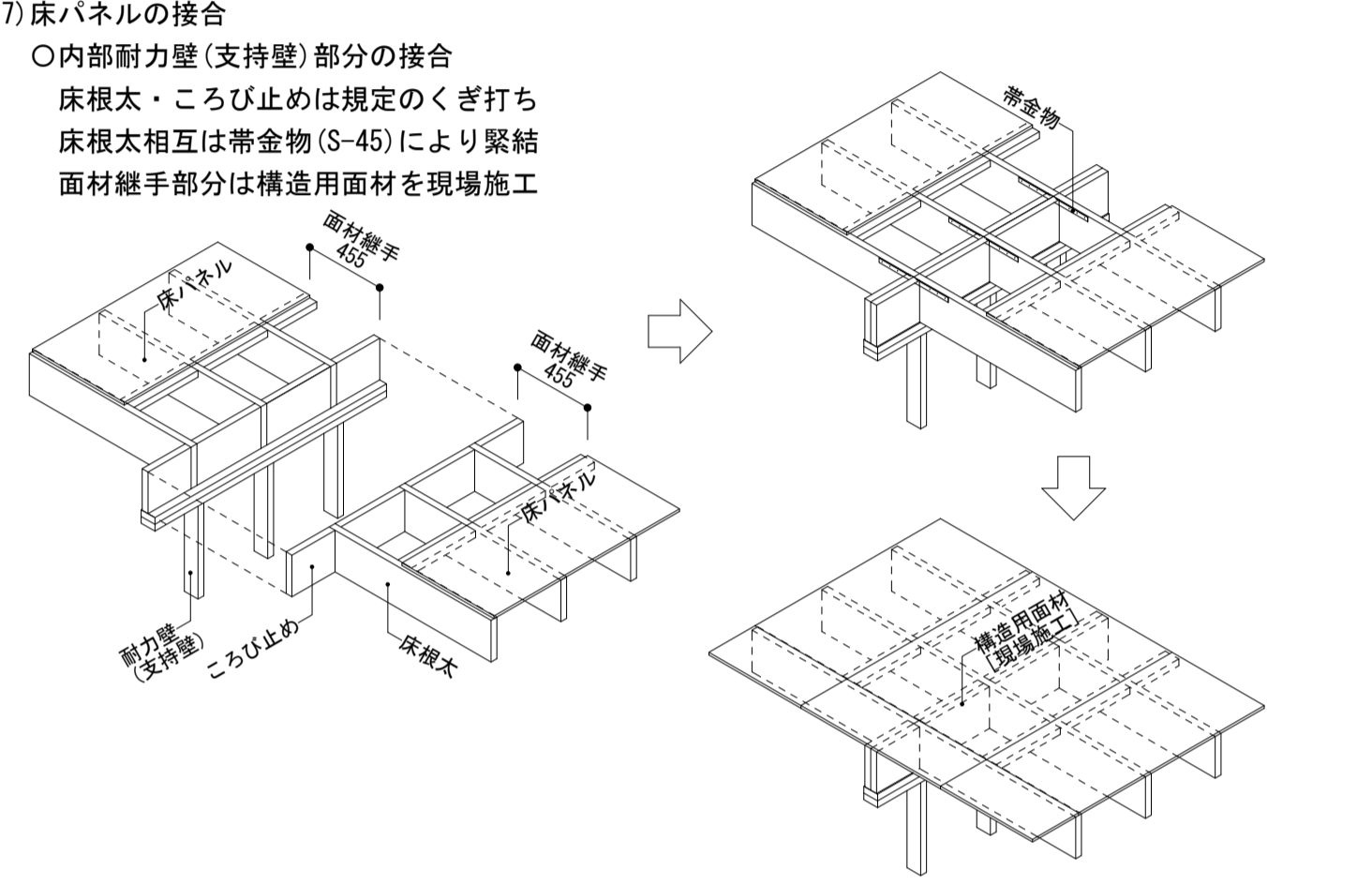
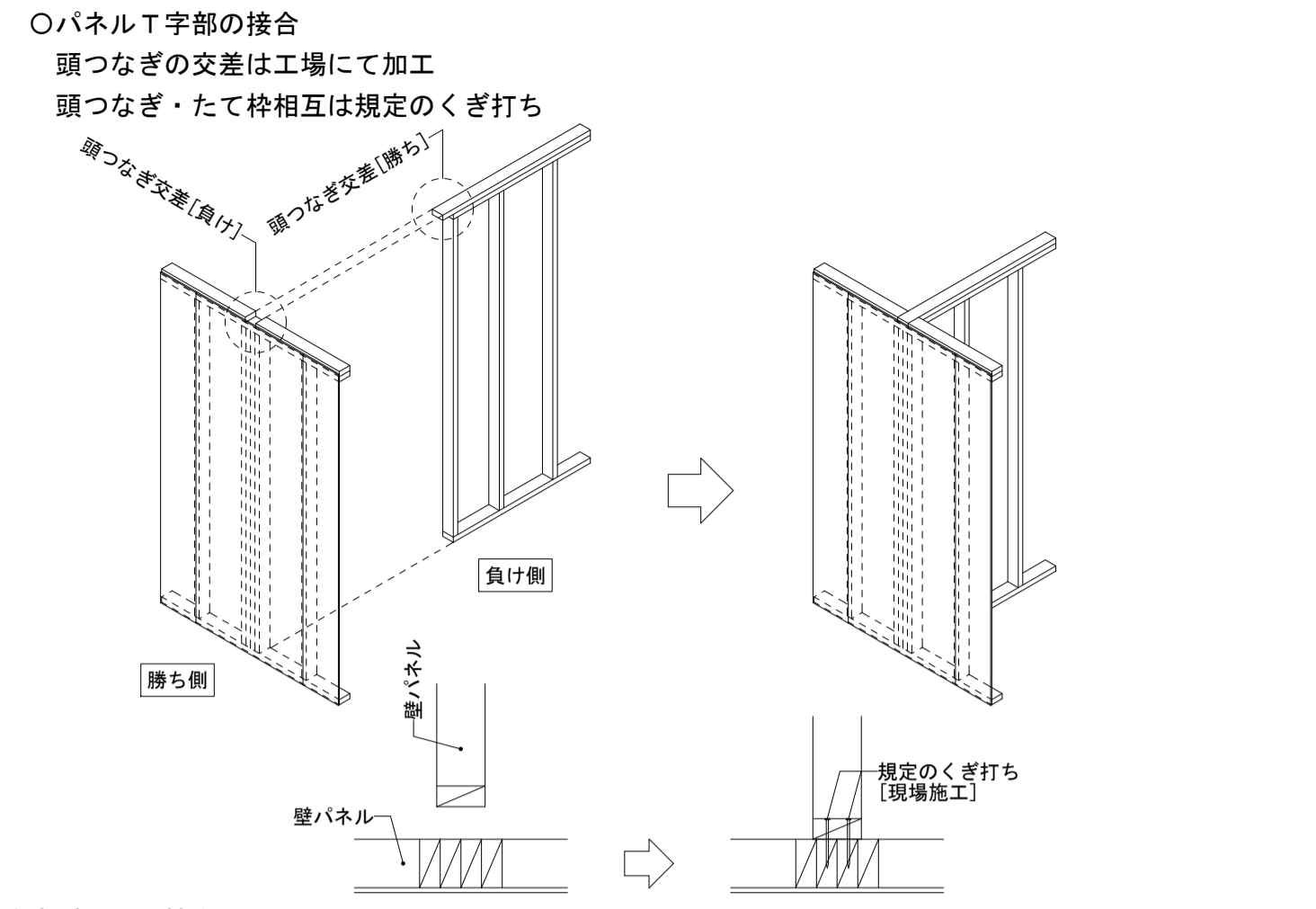
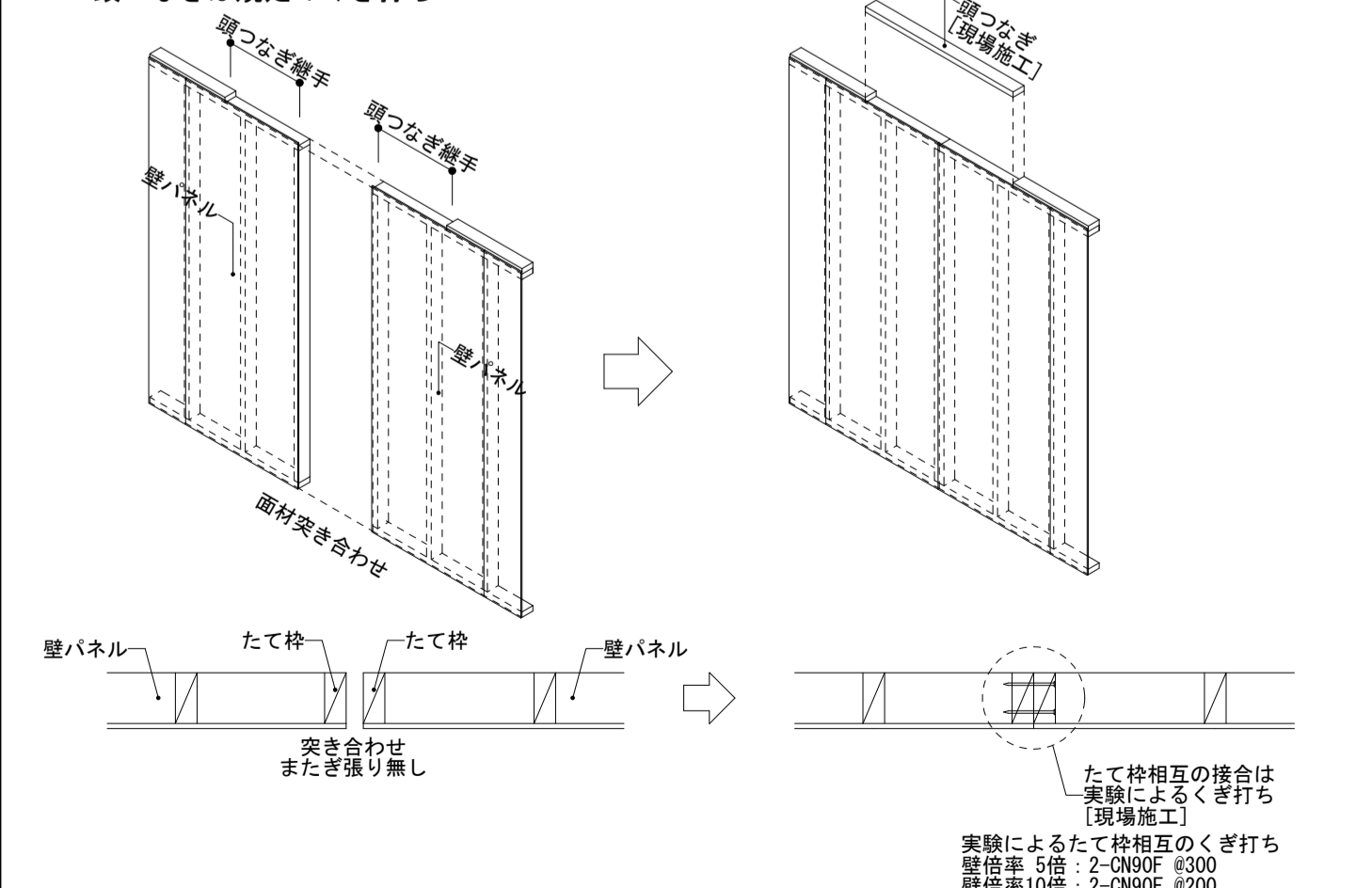
- (3) 搬入及び建て方  
材料、パネル等の搬入及び集積に当たり、部材への損傷及び雨掛りがないように留意する。  
搬入日は、原則として、建て方を行う日とする。材料、パネル等は、たて方順序を考慮して搬入及び集積する。  
工事現場における含水率の測定は、監督職員との協議による。

- (5) その他標準仕様書  
「標準仕様書」に記載なきものは、下記のその他標準仕様書による  
① (一社)日本ツーバイフォー建築協会発行 2025年版「枠組壁工法建築物パネル工法の手引」  
② (一社)日本ツーバイフォー建築協会発行 2025年版「枠組壁工法建築物パネル工法標準詳細図集」  
③ (一社)日本ツーバイフォー建築協会発行 2025年版「枠組壁工法建築物くぎ打ちの手引」

- (6) 壁パネルの接合  
○パネル相互の接合(現場またぎ張り)  
面材継手部分は構造用面材を現場施工にてまたぎ張り  
頭つなぎ継手部分は現場施工  
構造用面材・頭つなぎは規定のくぎ打ち



- パネル相互の接合(面材突合せ)  
面材を突き合わせ(またぎ張り無し)とする場合、たて枠相互の接合は実験によるくぎ打ち  
頭つなぎ継手部分は現場施工  
頭つなぎは規定のくぎ打ち



枠組壁工法：構造特記仕様書(6)

10. 接合金物の使用例

○本仕様書は(公財)日本住宅・木材技術センターの認定金物(Cマーク・Zマーク・Xマーク表示金物等)を基本に記載する  
 ○上記金物以外を使用する場合は、各製造所の製造試験データを確認し適正なものを使用する  
 ○構造図特記と異なる仕様の金物を使用する場合は監理者に確認の上承認を受けること

<p>柱頭金物 PC</p> <p>はりに 6-ZN65 柱に 6-ZN65</p>	<p>柱頭金物 GL-PC</p> <p>はりに 8-ZN65 柱に 8-ZN65</p>	<p>帯金物 S-45</p> <p>太めくぎ 6-ZN40</p>	<p>帯金物 S-50</p> <p>太めくぎ 12-ZN65</p>	<p>あり止め金物 TS</p> <p>たるきに 4-ZN40 頭つなぎに 2-ZN40 上枠に 2-ZN40</p>	<p>あり止め金物 TW-23</p> <p>たるきに 4-ZN40 頭つなぎに 1-ZN40 上枠に 1-ZN40 たて枠に 4-ZN40</p>	<p>あり止め金物 TW-30</p> <p>たるきに 4-ZN40 頭つなぎに 1-ZN40 上枠に 1-ZN40 たて枠に 4-ZN40</p>	<p>根太受け金物 JH-S204・206</p> <p>(204及び206用) 横架材に 4-ZN40 根太に 4-ZN40</p>	<p>根太受け金物 JH204・206</p> <p>(204及び206用) 横架材に 6-ZN40 根太に 4-ZN40</p>	
<p>柱とはりの緊結</p>	<p>支持柱頭部とはりの緊結</p>	<p>根太、上枠又は頭つなぎの緊結 床部たるきの相互の緊結</p>	<p>壁と床枠組の緊結 両面開口を設けたときの隅柱、側壁のまぐさ受け 及びたて枠と1階壁との緊結等</p>	<p>たるき又はトラスと頭つなぎ、上枠の緊結</p>	<p>たるき又はトラスと頭つなぎ、上枠、たて枠の緊結</p>	<p>たるき又はトラスと頭つなぎ、上枠、たて枠の緊結</p>	<p>床根太、たるき、屋根根太又は天井の接合部に支持点がない場合の緊結</p>	<p>床根太、たるき、屋根根太又は天井の接合部に支持点がない場合の緊結</p>	
<p>帯金物 S-65</p> <p>太めくぎ 15-ZN65</p>	<p>帯金物 S-90</p> <p>太めくぎ 12-ZN40</p>	<p>帯金物 S-90</p> <p>太めくぎ 12-ZN40</p>	<p>帯金物 SW-67</p> <p>太めくぎ 26-ZN65</p>	<p>スチーフアンカー SA-65</p> <p>太めくぎ 12-ZN65 六角ボルト M8×150 小型角座金 W1.6×23 蝶ナット M8</p>	<p>根太受け金物 JH2-204 JH2-206</p> <p>(2-204及び2-206用) 横架材に 6-ZN65 根太に 4-ZN65</p>	<p>根太受け金物 JH208・210</p> <p>(208及び210用) 横架材に 8-ZN65 根太に 6-ZN40</p>	<p>根太受け金物 JH212</p> <p>(212用) 横架材に 10-ZN65 根太に 6-ZN40</p>	<p>根太受け金物 JHS208・210R</p> <p>(208及び210用右勝手) 横架材に 10-ZN65 根太に 6-ZN40</p>	<p>根太受け金物 JHS208・210L</p> <p>(208及び210用左勝手) 横架材に 10-ZN65 根太に 6-ZN40</p>
<p>両面開口を設けたときの隅柱と1階壁との接合 両面開口を設けたときの側壁のまぐさ受け及びたて枠と1階壁との緊結等</p>	<p>オーバハング等の隅角部の緊結 天井根太をはりに取付ける場合の天井根太同士の緊結</p>	<p>両面開口を設けたときの側壁のまぐさ受け及びたて枠と土台の緊結</p>	<p>土間コンクリート床スラブで構成し両面開口を設けた 場合の隅柱及びたて枠並びにまぐさ受けと土台の緊結</p>	<p>床根太、たるき、屋根根太又は天井の接合部に支持点がない場合の緊結</p>	<p>床根太、たるき、屋根根太又は天井の接合部に支持点がない場合の緊結</p>	<p>床根太、たるき、屋根根太又は天井の接合部に支持点がない場合の緊結</p>	<p>45°に根太を接合する場合の接合部に支持点がない場合の緊結</p>	<p>45°に根太を接合する場合の接合部に支持点がない場合の緊結</p>	
<p>梁受け金物 BH2-208</p> <p>(2-208用) 横架材に 10-ZN65 はりに 6-ZN65</p>	<p>梁受け金物 BH2-210</p> <p>(2-210用) 横架材に 10-ZN65 はりに 6-ZN65</p>	<p>梁受け金物 BH2-212</p> <p>(2-212用) 横架材に 12-ZN90 はりに 6-ZN65</p>	<p>梁受け金物 BH3-208</p> <p>(3-208用) 横架材に 14-ZN90 はりに 6-ZN90</p>	<p>梁受け金物 BH3-210</p> <p>(3-210用) 横架材に 14-ZN90 はりに 6-ZN90</p>	<p>梁受け金物 BHH3-210</p> <p>(3-210用) 横架材に 14-ZN80 はりに 6-ZN90</p>	<p>梁受け金物 BHS2-210R</p> <p>(2-210用) 横架材に 12-ZN65 はりに 4-ZN65</p>	<p>梁受け金物 BHS2-210L</p> <p>(2-210用) 横架材に 12-ZN65 はりに 4-ZN65</p>		
<p>はりの接合部に支持点がない場合のはりの緊結</p>	<p>はりの接合部に支持点がない場合のはりの緊結</p>	<p>はりの接合部に支持点がない場合のはりの緊結</p>	<p>はりの接合部に支持点がない場合のはりの緊結</p>	<p>はりの接合部に支持点がない場合のはりの緊結</p>	<p>はりの接合部に支持点がない場合のはりの緊結</p>	<p>45°にはりを接合する場合の接合部に支持点がない場合のはりの緊結</p>	<p>45°にはりを接合する場合の接合部に支持点がない場合のはりの緊結</p>		
<p>梁受け金物 BH3-212</p> <p>(3-212用) 横架材に 16-ZN90 はりに 6-ZN90</p>	<p>梁受け金物 BH4-208</p> <p>(4-208用) 横架材に 14-ZN90 はりに 6-ZN90</p>	<p>梁受け金物 BH4-210</p> <p>(4-210用) 横架材に 14-ZN90 はりに 6-ZN90</p>	<p>梁受け金物 BH4-212</p> <p>(4-212用) 横架材に 16-ZN90 はりに 6-ZN90</p>	<p>梁受け金物 BHH4-210</p> <p>(2-210用) 横架材に 10-ZN80 はりに 6-ZN65</p>	<p>まぐさ受け金物 LH204</p> <p>たて枠に 6-ZN65 まぐさに 2-ZN65</p>	<p>まぐさ受け金物 LH206</p> <p>たて枠に 10-ZN65 まぐさに 2-ZN65</p>	<p>パイプガード PG</p> <p>太めくぎ 4-ZN65</p>		
<p>はりの接合部に支持点がない場合のはりの緊結</p>	<p>はりの接合部に支持点がない場合のはりの緊結</p>	<p>はりの接合部に支持点がない場合のはりの緊結</p>	<p>はりの接合部に支持点がない場合のはりの緊結</p>	<p>はりの接合部に支持点がない場合のはりの緊結</p>	<p>開口部の幅が1m以下の場合のまぐさとたて枠の緊結</p>	<p>開口部の幅が1m以下の場合のまぐさとたて枠の緊結</p>	<p>たて枠、床根太等の配線、配管の保護</p>		
<p>はりの接合部に支持点がない場合のはりの緊結</p>	<p>はりの接合部に支持点がない場合のはりの緊結</p>	<p>はりの接合部に支持点がない場合のはりの緊結</p>	<p>はりの接合部に支持点がない場合のはりの緊結</p>	<p>はりの接合部に支持点がない場合のはりの緊結</p>	<p>開口部の幅が1m以下の場合のまぐさとたて枠の緊結</p>	<p>開口部の幅が1m以下の場合のまぐさとたて枠の緊結</p>	<p>たて枠、床根太等の配線、配管の保護</p>		

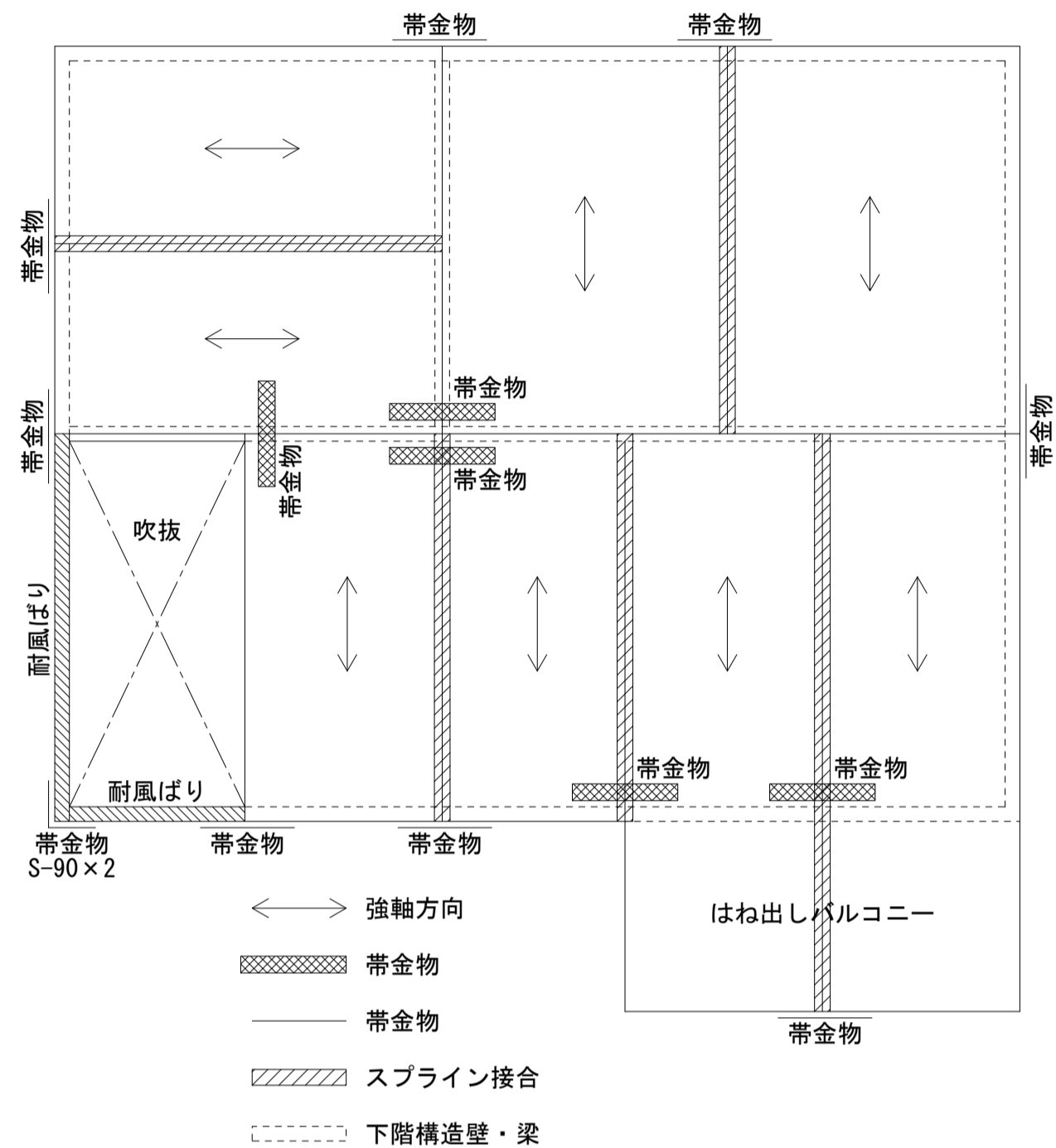


枠組壁工法：構造特記仕様書(8)

11-1. 枠組壁工法接合部の標準仕様 - CLT床組

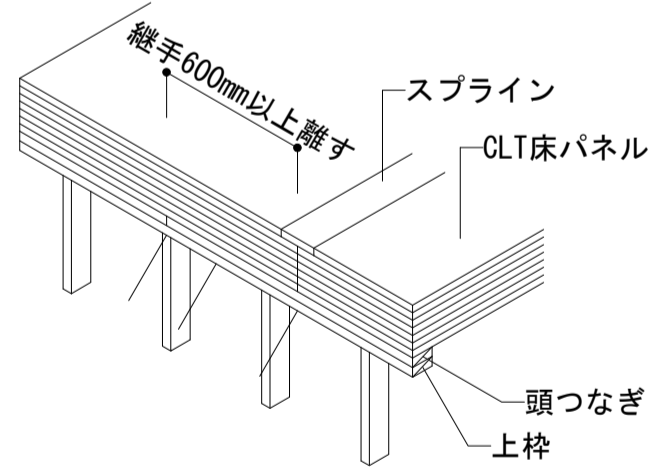
- (1) CLT床版の配置と施工  
CLTの壁構成は、構造計算により設定されているため、ファスナー(くぎ・ビス等)・構造金物の仕様は構造図特記に従う。  
①CLTパネルは、寸法も大きく現場での加工、修成は困難であり材の搬入時に、加工図等による、材質・材料規格・材寸の確認が重要。  
②2階以上の階の床パネルを高所で加工調整は危険であるため、必要場合は建て方前に地盤面加工を行う(ボルト穴・ビス穴等の下穴)。  
③建て方施工前に、下階の壁の天端精度を確認し、不陸が許容値を上回る場合は補正する。  
④跳ね出し寸法の大きいバルコニー床パネル施工では、予め支保工を設置し安全を図る。

○CLT床版配置概念図

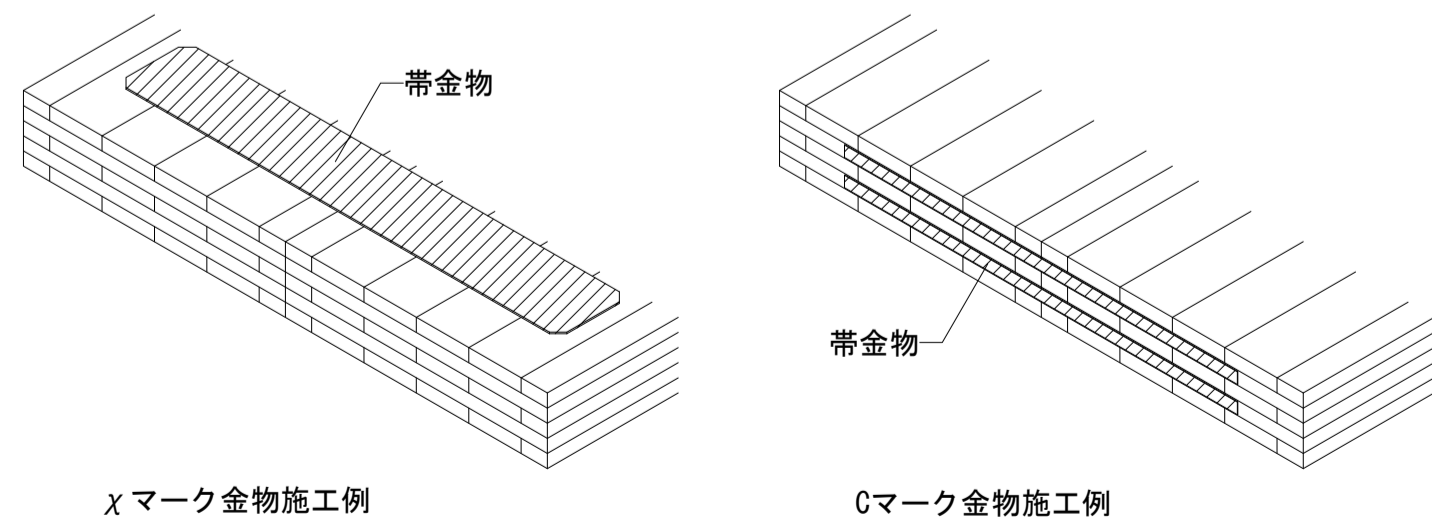


- ①床開口の外周部等でCLTパネルを配置出来ない部分にはパネルせいと同寸の構造用集成材等のはり(エンジニアリングウッド)を配置する。  
②原則として、床パネル同士は、スプライン接合にて接合する又、構造図特記により必要箇所にχマーク金物により補強接合を行う。  
③床パネルの外周側面のパネル接合部には構造図特記により、χマーク金物を施工する。この場合、鋼板のビスの留め位置が極力CLTパネルのラミナ木口部にならないよう注意する。

- ④CLT床パネルの接合位置と、下階の壁の頭つなぎの継手位置は600mm以上離して配置するか頭つなぎ材を金物等で補強する。



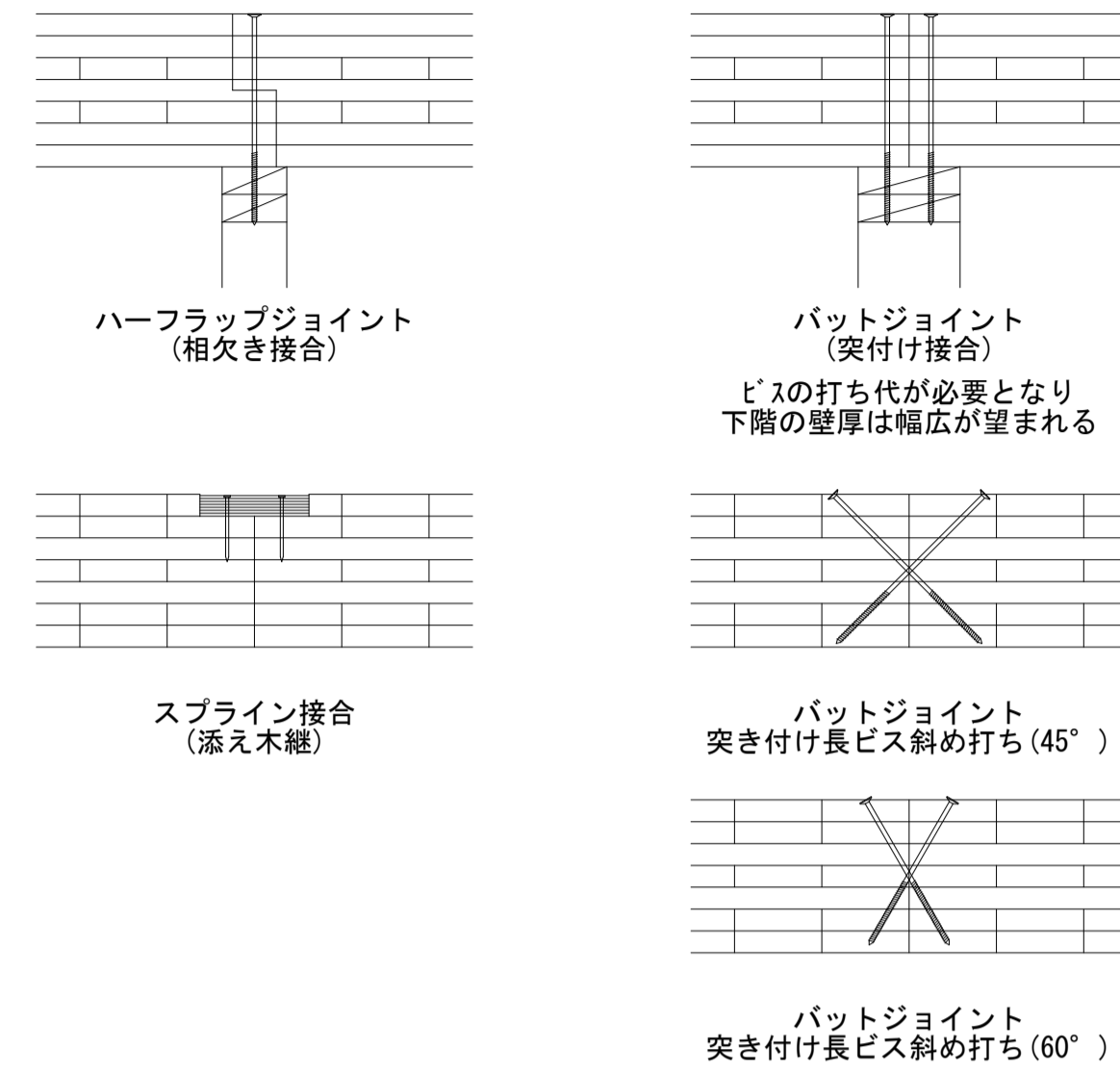
- ⑤外周及び床開口廻りのCLT床パネル接合位置には帯金物を施工する。帯金物はχマーク金物を床面に取付けるか、Cマーク金物を床外周部に取付ける。Cマーク金物を使用する場合は、CLTパネルのラミナ木口面を避け、木端面に施工する。



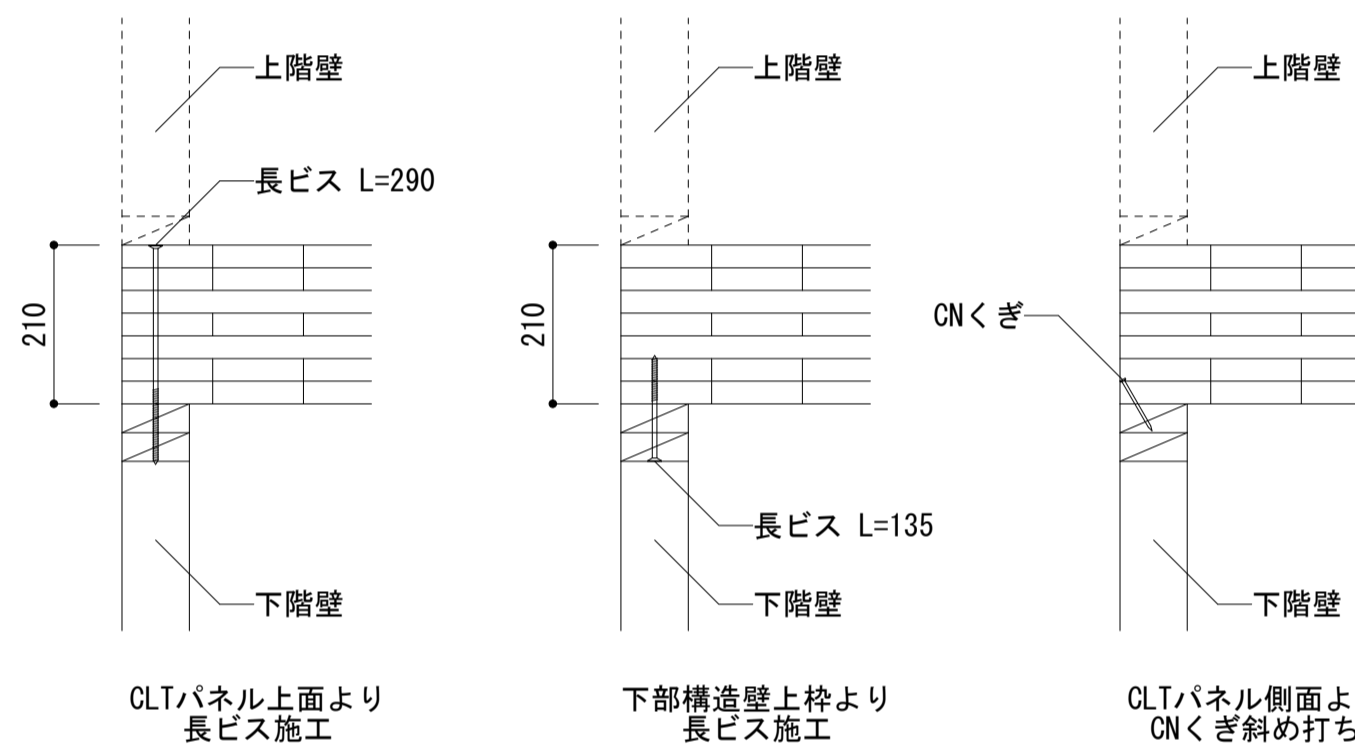
- ⑥各床パネルへの穴あけは、構造図特記に基づいて行う。この場合穴あけ位置はスパンの中心四分の一を避けること。又穴あけの大きさは、40cm角以内とする。

- (2) CLT床パネルの接合方法  
CLT床パネルの接合方法は下図により、構造図特記の指定により施工する。

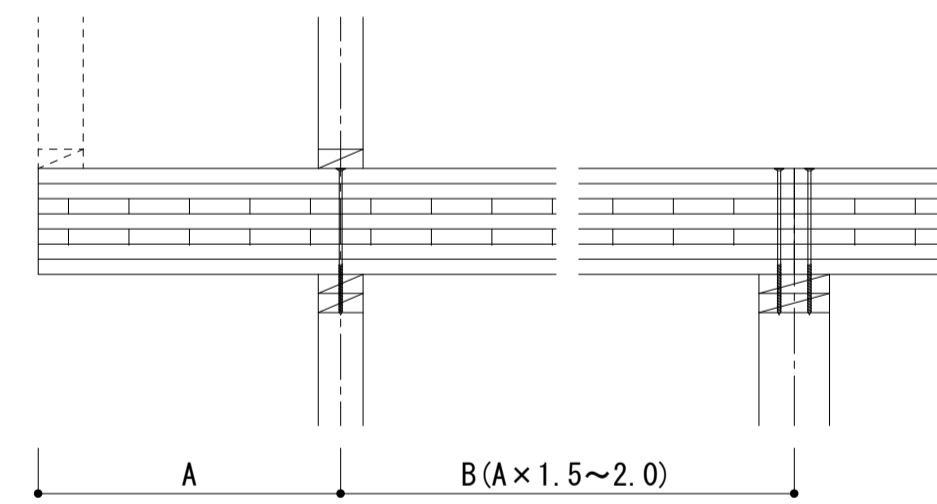
○CLT床パネル同士の接合



○CLT床パネルと下階の構造壁との接合



- 床はね出し部の下階構造壁との接合  
床はね出し部のCLTパネルは、躯体側へののみ込み長さをはね出しスパンの1.5~2.0倍以上確保し、端部を下階の耐力壁等に確実に固定する。



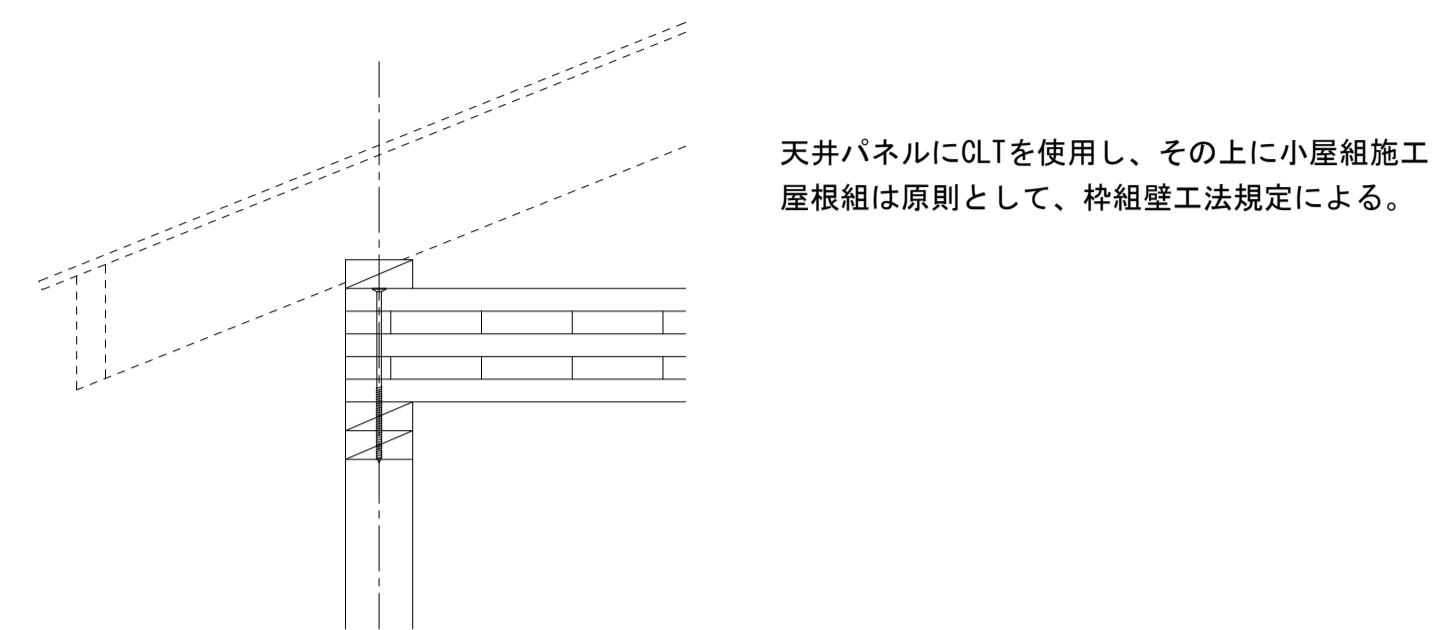
○CLT床パネルの接合方法は構造図特記による、原則的な接合仕様は下表による。

緊結する部分	緊結の方法				
	接合部の継手	接合具の種類	打ち方	間隔等	備考
床パネル - 床パネル	スプライン接合	構造用合板28mm			合板巾28mm以上
		くぎ CN90	平打ち		
	ビス STS・C65	平打ち			
緊結部直下に下階壁・梁の有る場合	ハーフラップジョイント	長ビス	平打ち	構造図特記による	相欠き接合
	バットジョイント	長ビス	斜め打ち		突付け接合
下階壁 - 床パネル 床梁 - 床パネル	床パネルから下階壁へ施工 下階壁から床パネルへ施工	帯金STW-790 帯金STW-800		構造図特記による	χマーク金物
		長ビス		構造図特記による	
同一階壁 - 床パネル	壁下枠から床パネル				
耐力壁引抜き抵抗金物	構造図特記による	ホルダ'ン金物 タダ'ン金物 C'ク帯金物 その他金物			

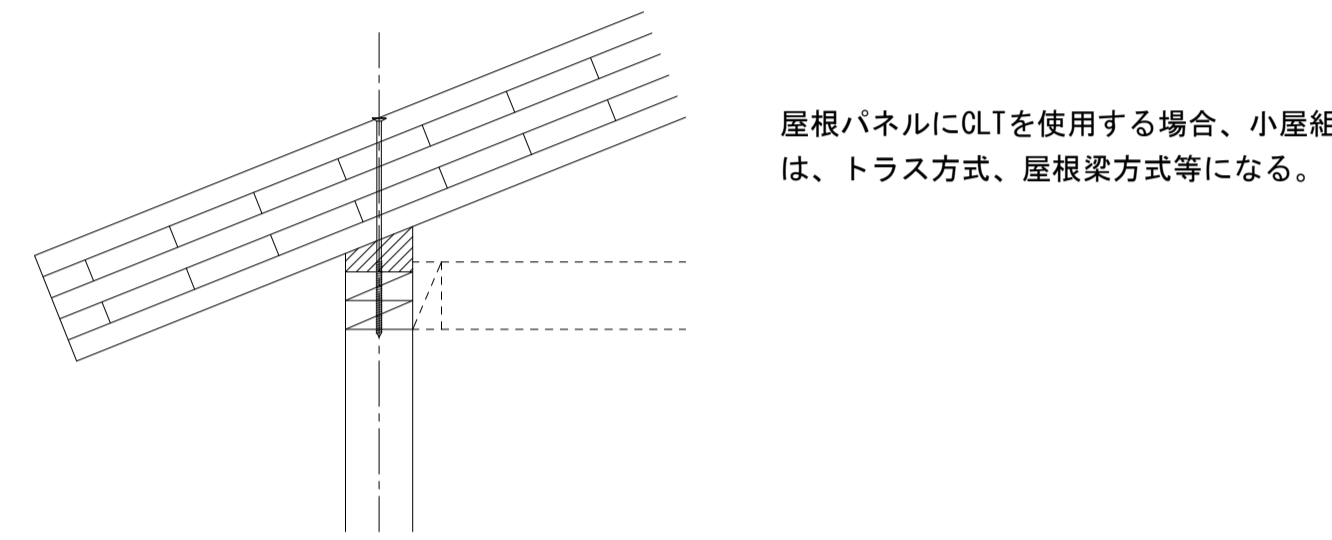
11-2. 枠組壁工法接合部の標準仕様 - CLT屋根組

- (1) CLTの屋根組構成  
CLTの屋根組構成は、構造計算により設定されているため、ファスナー(くぎ・ビス等)構造金物の仕様は構造図特記に従う。

- CLTパネルによる屋根架構には次の方法があり、構造図による。  
①天井根太に替えて、CLTパネルによる水平盤を施工しその上に枠組壁工法製材による屋根架構を施工する方法

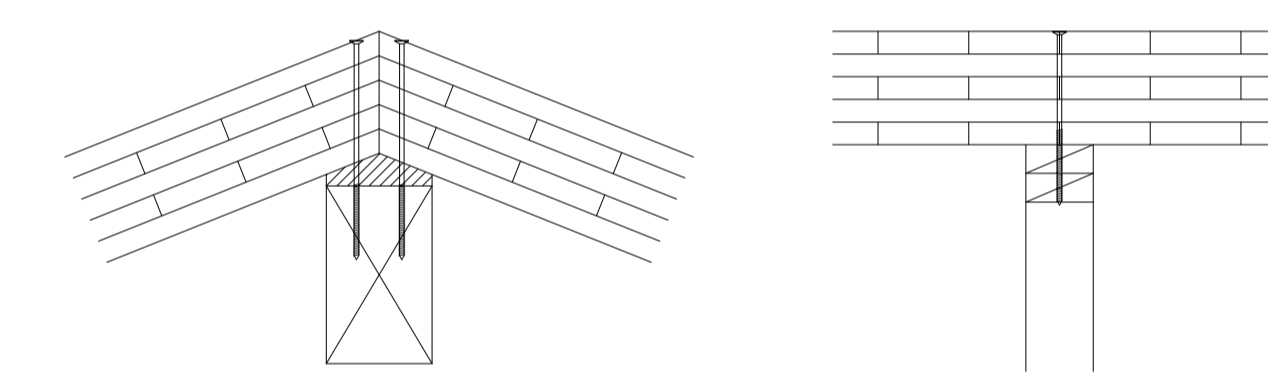


- ②屋根たるきに替えて、CLTパネルにより屋根架構を施工方法



○棟ばり - CLT屋根パネルの取合い

○CLT屋根パネル - けらば部取合い



○CLT屋根パネルの接合方法は構造図特記による、原則的な接合仕様は下表による。

緊結する部分	緊結の方法				備考
	接合部の継手	接合具の種類	打ち方	間隔等	
屋根パネル - 屋根パネル	スプライン接合	構造用合板28mm			合板巾28mm以上
		くぎ CN90	平打ち		構造図特記による
緊結部直下に下階壁・梁の有る場合	バットジョイント	長ビス	斜め打ち		
		長ビス			構造図特記による
屋根パネル - 軒先壁		長ビス			構造図特記による
		羽子板ボルト			
屋根パネル - 棟梁		長ビス			構造図特記による
		長ビス			構造図特記による

# 枠組壁工法：構造特記仕様書(9)

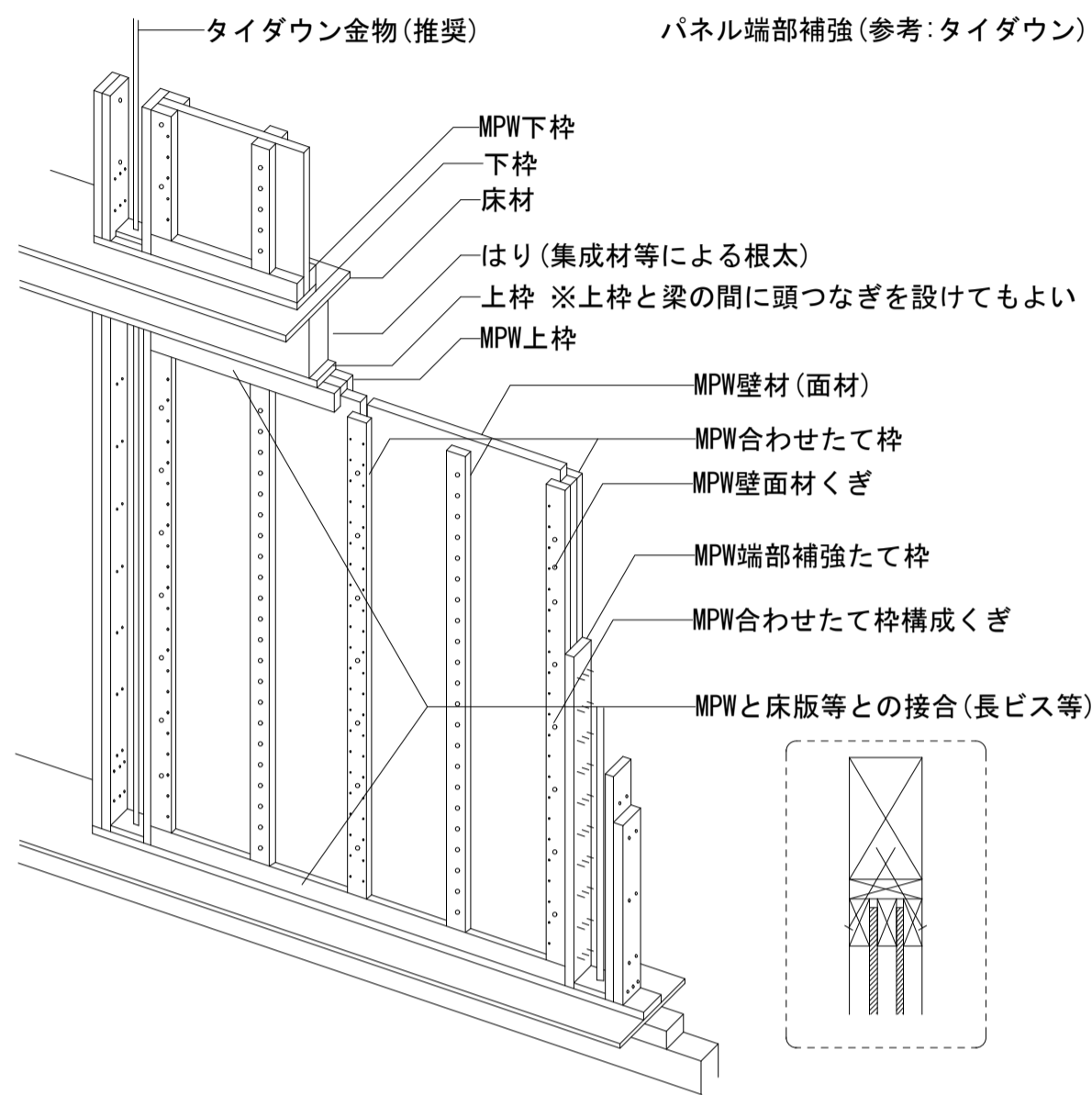
## 12. ミッドブライウォール耐力壁

### (1) ミッドブライウォール耐力壁 (MPW) の壁組構成

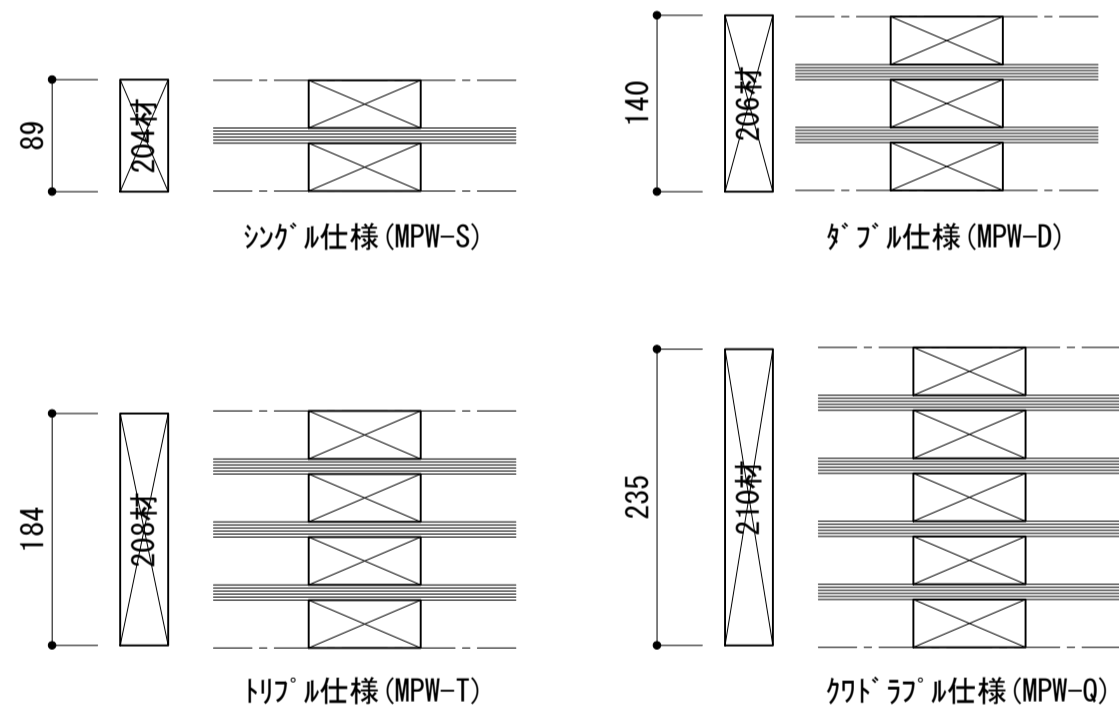
MPWの壁構成は構造計算により設定されており製作・施工は試験成績書を参考とする。  
 ファスナー(くぎ・ビス等)の仕様は構造図特記に従う。

- MPWは枠組材の間に挟み込む壁材(構造用パネル(05B))を1枚~4枚の範囲で設計でき、それぞれ、シングル仕様(MPW-S)、ダブル仕様(MPW-D)、トリプル仕様(MPW-T)、クワドラプル仕様(MPW-Q)とする。
- 4種類の層構成とするMPW耐力壁の壁厚は、MPW-Sは204材、MPW-Dは206材、MPW-Tは208材、MPW-Qは210材に概ね一致する。

### ○ミッドブライウォール概念図



### ○ミッドブライウォールの層構成と壁厚

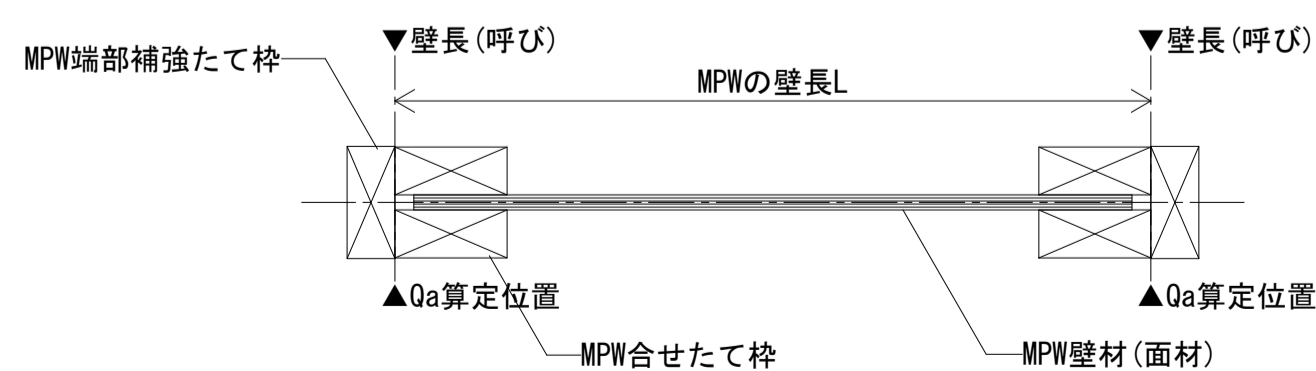


### ○ミッドブライウォールの仕様材料は下表による。

材料	仕様	断面
MPW上枠	枠組壁工法製材 等級・樹種等は構造図特記 による	MPW-S 204
MPW下枠		MPW-W 206
MPW端部補強 たて枠		MPW-T 208
		MPW-Q 210
MPW合わせたて枠		面材継手 204 206
MPW壁材(面材)	構造用合板2級以上 構造用パネルJAS3級以上	面材厚 12mm 11.1mm

### ○ミッドブライウォール耐力壁の壁長

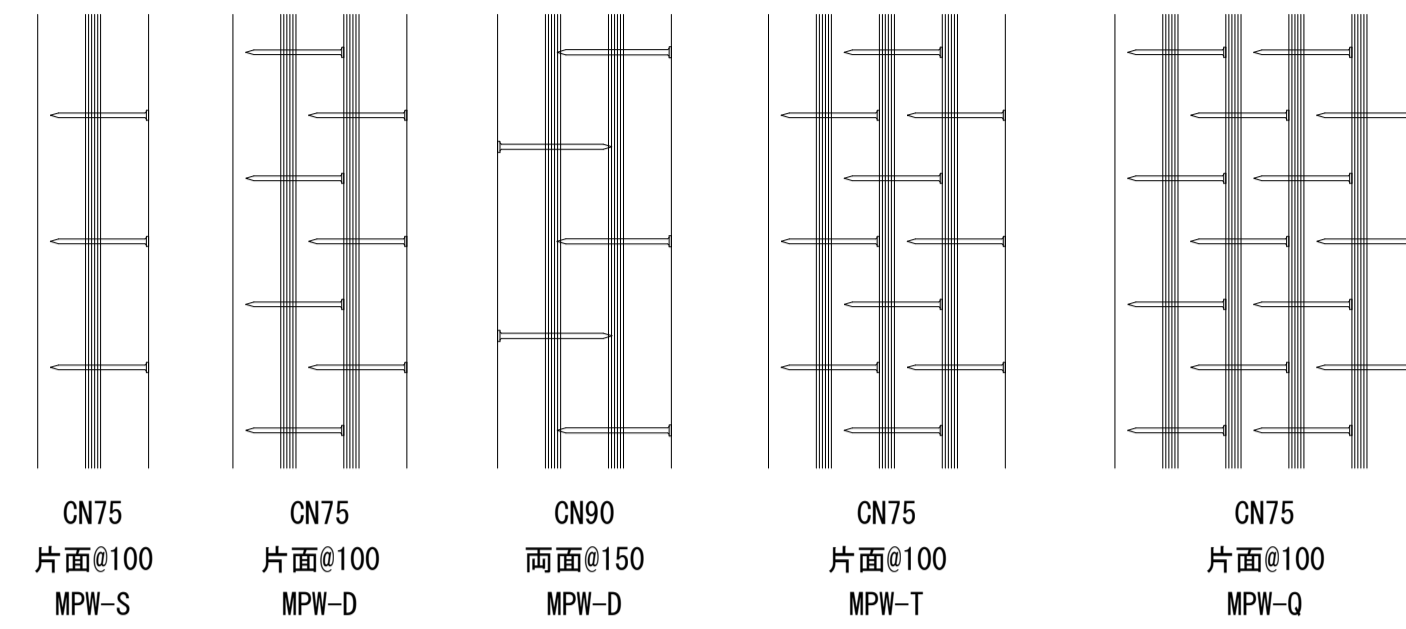
MPWの許容せん断耐力 $Q_a$ を算定する際の壁長Lは壁端部のMPW合わせたて枠の外端部間の距離(MPW補強たて枠の内法距離)とし、 $L=600\text{mm}$ 以上とする。



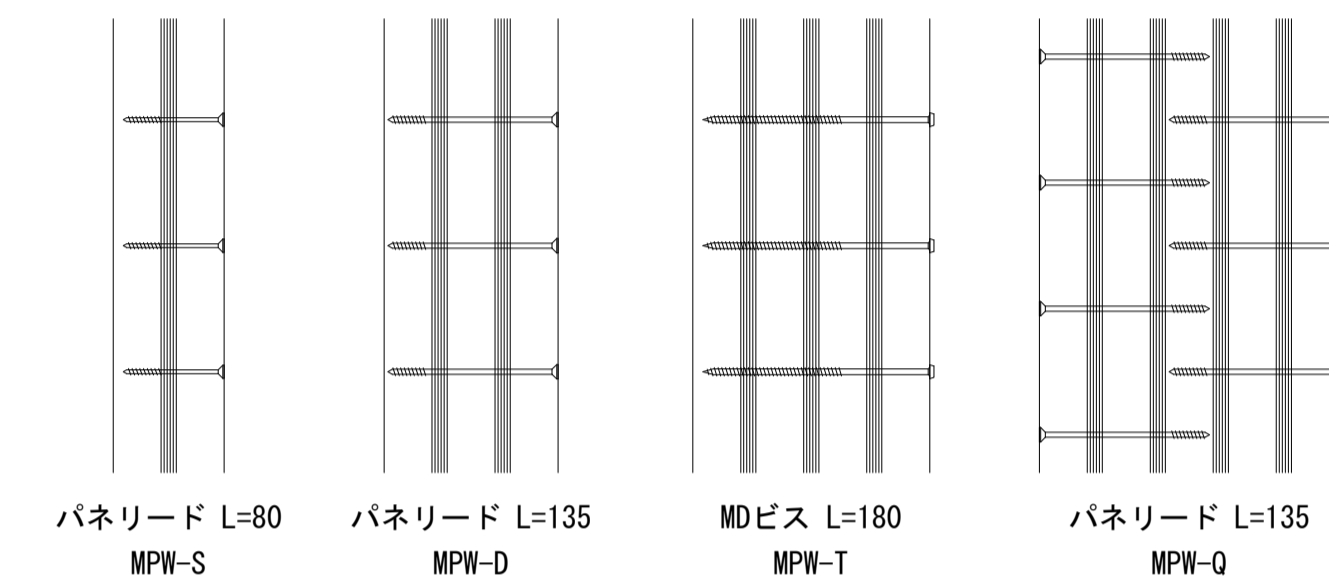
### (2) ミッドブライウォール耐力壁構成材の接合方法

○ミッドブライウォールのたて枠構成と面材の接合方法

(a-1) MPW一般部縦方向(くぎ接合の場合)



### (a-2) MPW一般部(ビス接合の場合)

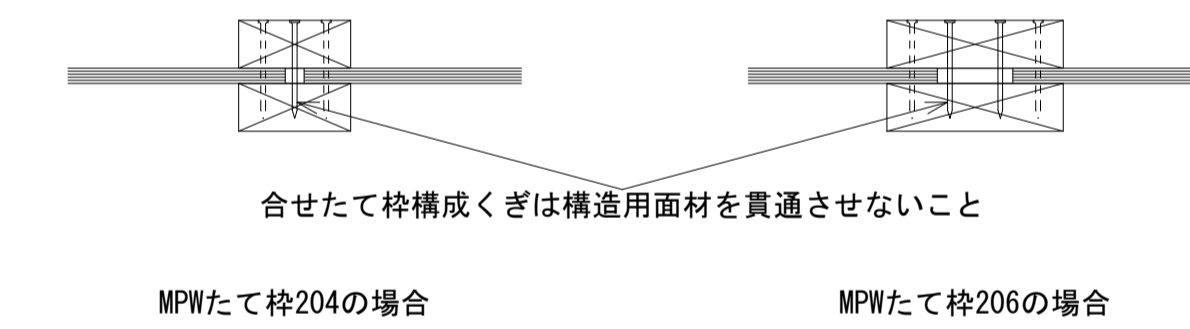


### (b) MPWたて枠構成 面材中間部



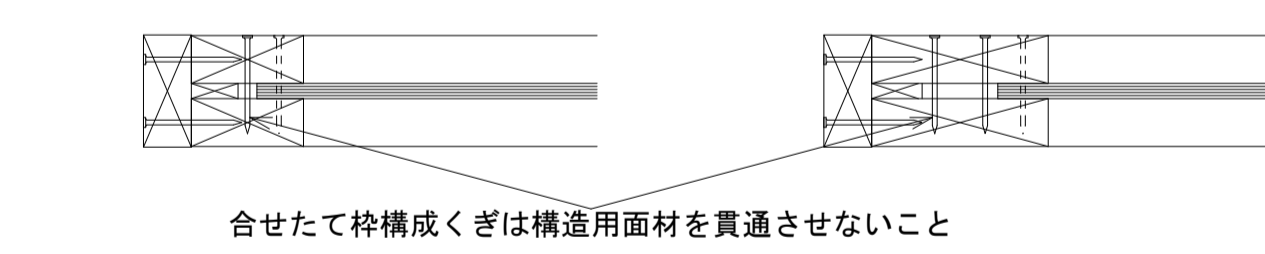
### (c) MPW面材の継ぎ手

面材の継ぎ手では、「面材くぎ」と「合せたて枠構成くぎ」は、明確に区分して施工する。「たて枠構成くぎ」は面材部へ貫通しないよう部材を配置する。



### (d) MPW面材の端部

MPWの端部では、「面材くぎ」と「合せたて枠構成くぎ」は、明確に区分して施工する。「たて枠構成くぎ」は面材部へ貫通しないよう部材を配置する。

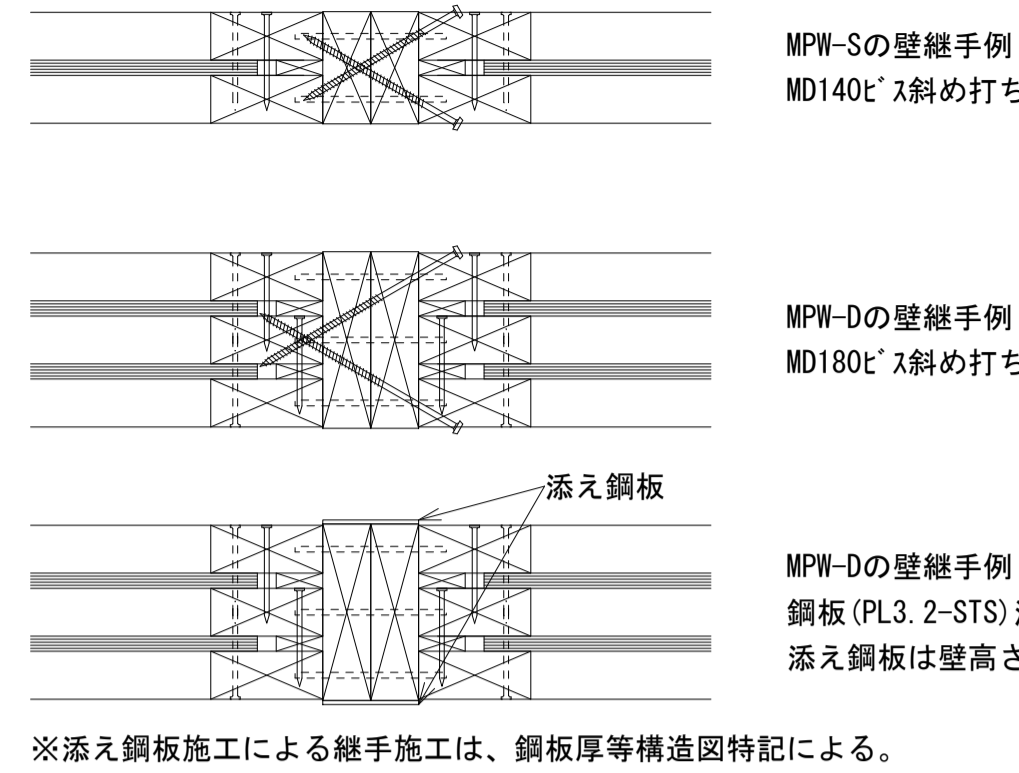


### ○ミッドブライウォールの合せたて枠くぎ打ち規定は下表による。

緊結する部分	くぎの種類	緊結の方法		備考
		間隔等		
MPW-S シングル	くぎ	CN75F	片面@100	
	ビス	パネリード II (P5×80 II*)	φ5.0 片面@100	
MPW-D ダブル	くぎ	CN75F	片面@100	
	くぎ	CN90F	両面@150	
MPW-T トリプル	くぎ	パネリード II (P6×135 II*)	φ6.0 片面@100	
	くぎ	CN75F	片面@100	
MPW-Q クワドラプル	くぎ	CN75F	片面@100	
	ビス	MDビス (SDS-180)	φ6.5 片面@100	
クワドラプル	くぎ	CN75F	片面@100	
	ビス	パネリード II (P6×135 II*)	φ6.0 片面@100	

### (3) ミッドブライウォール耐力壁同士の接合

○ミッドブライウォールの壁継手部の接合規定

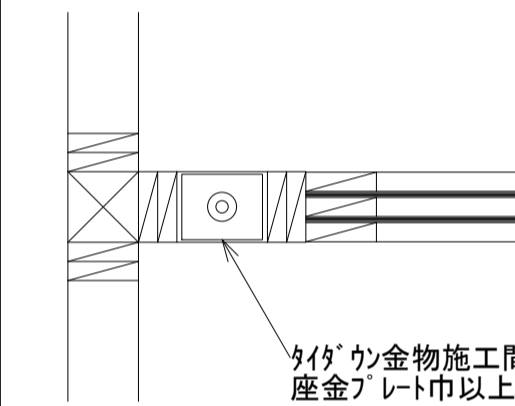


MPW耐力壁同士は以下の接合方法によれば、壁長を加算とみなすことができる。

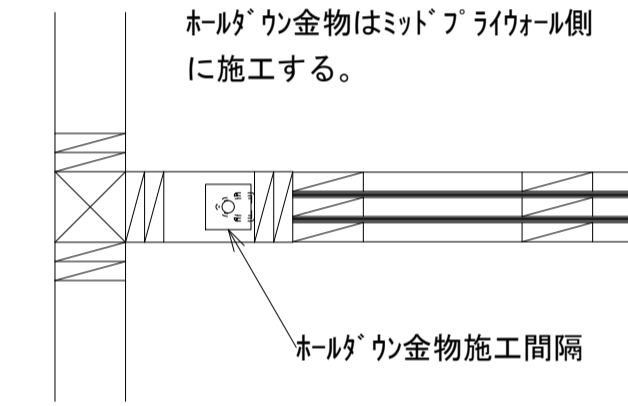
緊結する部分	緊結の方法			備考
	接合具の種類	打ち方	間隔	
MPW-S シングル	ビス	MD-140	両面@200	ビ'ス打ち込み角度60度
	鋼板添え	PL3.2-ST5 C65	両面@200	—
MPW-D ダブル	ビス	MD-180	両面@100	ビ'ス打ち込み角度60度
	鋼板添え	PL3.2-ST5 C65	両面@100	—
MPW-T トリプル	ビス	MD-180	両面@75	ビ'ス打ち込み角度60度
	鋼板添え	PL3.2-ST5 C65	両面@75	—
MPW-Q クワドラプル	ビス	MD-180	両面@50	ビ'ス打ち込み角度60度
	鋼板添え	PL3.2-ST5 C65	両面@50	—

### (4) ミッドブライウォールの端部金物接合

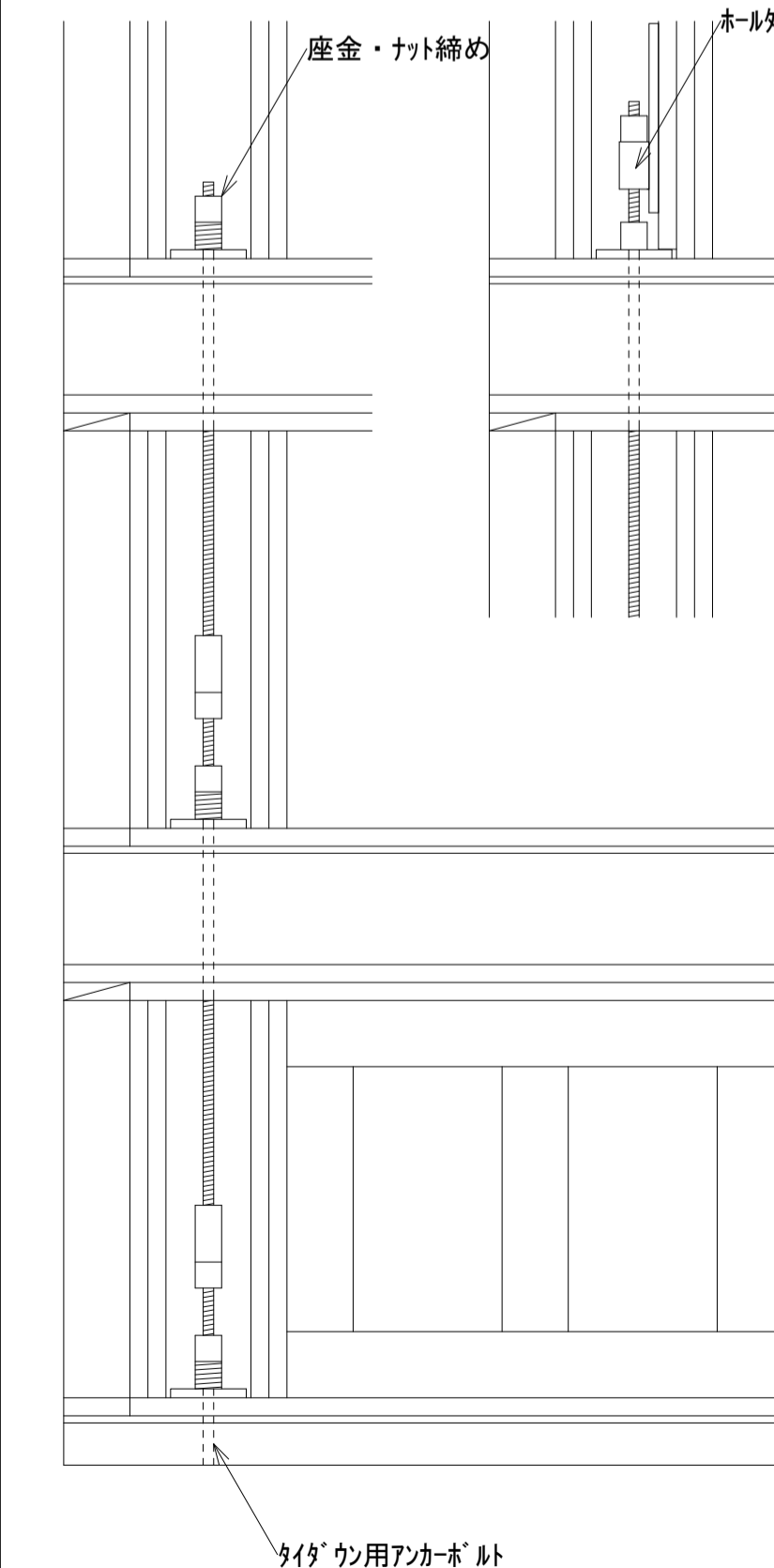
#### ①タイ'ク金物の場合のたて枠構成



#### ②ホル'ク金物の場合のたて枠構成



### ○タイダウン金物の設置概念図



### (3) ミッドブライウォールの上下床組みとの接合

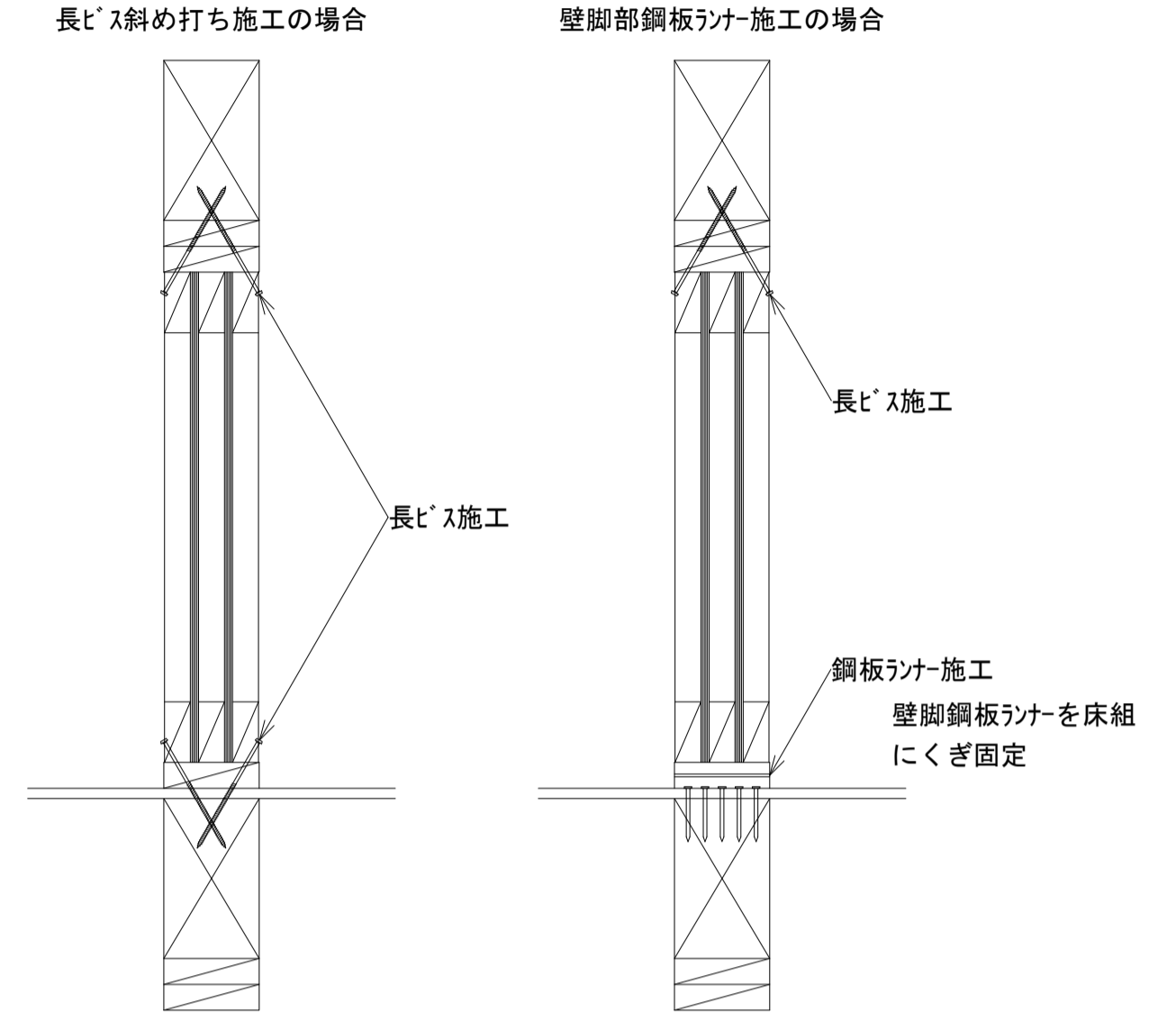
○ミッドブライウォールと上部床組の接合方法  
ミッドブライウォールと上部床組等との接合はMDビス140又はMDビス180を使用し、斜め打ち(60度)にて施工する。

### ○ミッドブライウォールと下部床組の接合方法

①ミッドブライウォールと下部床組等との接合はMDビス140又はMDビス180を使用し、斜め打ち(60度)にて施工する

### ②壁脚部用のランナー金物(C型鋼材 PL-3.2-ST5)を壁脚長で施工する。

ランナー金物の下部床組みへの固定は、MDビス又はZNくぎとする。  
MPWとランナー金物との接合はZNくぎとする



### ○ミッドブライウォールと上下床組等との接合規定

緊結する部分	緊結の方法			備考
	接合具の種類	打ち方	間隔	
MPW-S シングル	ビス	MD-140	両面@300	ビ'ス打ち込み角度60度
		MD-180	壁長4m超 両面@250 壁長4m以内 両面@400 壁長2m以下 両面@500	
	鋼板添え ZNくぎ	BPL3.2-ST5 C65	壁長4m超 両面@250 壁長4m以内 両面@400 壁長2m以下 両面@500	
		PL3.2-ST5 C65	壁長4m超 両面@250 壁長4m以内 両面@400 壁長2m以下 両面@500	
MPW-D ダブル	ビス	MD-140	両面@150	ビ'ス打ち込み角度60度
		MD-180	壁長4m超 両面@150 壁長4m以内 両面@200 壁長2m以下 両面@300	
	鋼板添え ZNくぎ	BPL3.2-ST5 C65	壁長4m超 両面@150 壁長4m以内 両面@200 壁長2m以下 両面@300	
		PL3.2-ST5 C65	壁長4m超 両面@150 壁長4m以内 両面@200 壁長2m以下 両面@300	
MPW-T トリプル	ビス	MD-140	両面@100	ビ'ス打ち込み角度60度
		MD-180	壁長2m超 両面@100 壁長2m以下 両面@200	
	鋼板添え ZNくぎ	BPL3.2-ST5 C65	壁長2m超 両面@100 壁長2m以下 両面@200	
		PL3.2-ST5 C65	壁長2m超 両面@100 壁長2m以下 両面@200	
MPW-Q クワドラプル	ビス	MD-140	両面@75	ビ'ス打ち込み角度60度
		MD-180	壁長2m超 両面@75 壁長2m以下 両面@150	
	鋼板添え ZNくぎ	BPL3.2-ST5 C65	壁長2m超 両面@75 壁長2m以下 両面@150	
		PL3.2-ST5 C65	壁長2m超 両面@75 壁長2m以下 両面@150	